
会 告 ・ 通 知

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 8 月号会告・通知目次 —————

◇CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催のお知らせ	2
◇CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 特別シンポジウム	3
◇第一種研究会開催案内 (平成 24 年 8 月 1 日～9 月 3 日)	4
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	21
◇2012 年ソサイエティ大会開催案内	27
◇FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集販売の御案内	28
◇支部大会	
・平成 24 年度電気・情報関連学会北海道支部連合大会	29
・平成 24 年度 (第 63 回) 電気・情報関連学会中国支部連合大会	29
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電子情報通信学会関西支部 学生「見学会・講演会」	30
電気四学会関西支部専門講習会「電磁界に関する規制の動向」	30
・本会が協賛等のもの	30
◇国際会議	33
◇受賞候補者募集等	34
◇求人欄	36
◇お知らせ	
・銀行・郵便局口座自動引落しの割引特典のお知らせ	40
・御登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい	40
・平成 24 年 8 月号及び 9 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	40
◇論文特集号原稿募集	
・Special Section on Nonlinear Vibration in Mechanical Systems and Its Control—from Nano to Macro— (英文論文誌 NOLTA)	40
・電子情報通信分野における萌芽の研究小特集号 (和文論文誌 A)	41
・持続的な発展を可能とするインターネットアーキテクチャ, プロトコル, 管理手法小特集号 (英文論文誌 B)	42
・ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文特集号 (和文論文誌 B)	43
◇会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」購入申込みについて	44
♣複写される方へ	26
♣本会発行図書案内	
・[Excel で学ぶ組込みシステム要素技術]	32
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	33

—CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催のお知らせ—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2012 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2012 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2012 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「震災を乗り越えるために一日本の新たな ICT の進路—」及び東京支部主催シンポジウム「M2M ネットワークとビッグデータの活用」、並びに下記 4 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

なお、今年の CEATEC のテーマは「Smart Innovation—豊かな暮らしと社会の創造—」です。

<http://www.ceatec.com/2012/ja/application/about/about02.html>

【開催日】 10月4日(木)～5日(金)

【会場】 幕張メッセ(千葉市)

会場までのアクセスは URL (<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>) を御参照下さい。

【参加費】 無料

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加される方は、下記 URL から展示会参加のための事前登録をお願い致します。<http://www.ceatec.com/> (8月初旬掲載予定)

本会が主催する内容は次のとおりです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム

【開催日】 10月4日(木) 14:00～17:30(予定)

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 日本の新たな ICT の進路

—震災後の ICT のあり方とその利活用を探る—

②電子ディスプレイ研究専門委員会 (EID)

【開催日】 10月4日(木) 13:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 フレキシブルディスプレイシンポジウム

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム

【開催日】 10月5日(金) 13:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 304号室

【テーマ】 M2M ネットワークとビッグデータの活用

③マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM)

【開催日】 10月4日(木) 13:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 304号室

【テーマ】 マルチメディアのプライバシー保護最前線

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究会

①パターン認識・メディア理解研究専門委員会 (PRMU)

【開催日】 10月4日(木) 9:00～17:00(予定)

10月5日(金) 9:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 302号室

【テーマ】 パターン認識によるインタフェースの未来

④ ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

【開催日】 10月5日(金) 9:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 未来のスマート社会を支える ICT 技術

※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) とは

CEATEC JAPAN は、世界最先端の技術・製品・サービス等が発表され、国内外の業界関係者を始めとする、幅広いユーザから大きな関心をもたれているアジア最大級の IT・エレクトロニクス産業に関連する業界の総合展示会です。

展示会場では、電子部品・デバイスから完成品まで多岐にわたる展示品目を、カテゴリーごとにゾーン分けを行い展開することで、顧客の的確な誘致と効率の良い情報収集を可能にします。展示会場で開催するコンファレンスセッションでは、産業界のトップエグゼクティブや、業界をリードするキーパーソンがビジネスの革新、躍進に役立つメッセージを発信します。

CEATEC JAPAN 2012 は 10月2日(火)～6日(土) の 5日間、幕張メッセにて開催されます。

詳細 URL はこちら <http://www.ceatec.com/2012/ja/application/index.html>

——CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 特別シンポジウム——

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2012 のコンファレンスの部において、産官学各界を代表する皆様による特別シンポジウムを開催致します。

東日本大震災から1年半がたち復興に向けた動きが活発化しています。この大震災により、ICT（電子情報通信技術）にも多くの貴重な教訓が得られました。そこで、これらの教訓を踏まえた上で、一層の安心・安全でスマートな活気のある社会の実現を目指して、これからのICTのあり方や、その利活用の将来展望を中心に、産官学それぞれの立場から日本のICTの進路について思いを語って頂きます。

日 時：2012年10月4日（木） 14：00～17：30

会 場：幕張メッセ国際会議場 2階 コンベンションホール A

テーマ：「日本の新たなICTの進路——震災後のICTのあり方とその利活用を探る——」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム案

14：00 開会及び趣旨の説明 電子情報通信学会会長（京都大学） 吉田 進氏

14：05～14：25 基調講演「安心・安全のための電子情報通信技術への期待と政策」
総務省官房総括審議官 久保田誠之氏

14：25～14：55 基調講演「未来社会の人材育成へのICTの応用」
日本学術振興会理事長（慶應義塾学事顧問） 安西祐一郎氏

14：55～15：05 休憩

15：05～16：20 パネリスト発言（各15分）

(1) 東日本電信電話株式会社社長 山村雅之氏

(2) 日本放送協会理事技師長 久保田啓一氏

(3) 日本電気株式会社社長 遠藤信博氏

(4) NICT 耐災害 ICT 研究センターセンター長（東北大学名誉教授） 根元義章氏

(5) 株式会社国際電気通信基礎技術研究所社長 平田康夫氏

16：20～17：25 討論

17：25 閉会挨拶 電子情報通信学会次期会長 井上友二氏

以上

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 8 月 1 日～9 月 3 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
応 用 音 響	1日(水) 2日(木)	14：00～17：50 10：00～15：30	東北学院大学・土樋キャンパス	10
信 頼 性 機 構 デ バ イ ス 電 子 部 品 ・ 材 料 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	23日(木) 24日(金)	9：30～18：25 9：00～18：10	東北大学・電気通信研究所	11
超 音 波	27日(月) 28日(火)	10：40～17：20 10：00～16：20	釜慶大学・大淵キャンパス（韓国）	19
8月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，非線形問題，VLSI設計技術，情報セキュリティ，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，思考と言語，技術と社会・倫理，安全性，ITS，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
光 通 信 シ ス テ ム 光 フ ァ イ バ 応 用 技 術	30日(木) 31日(金)	13：15～17：20 9：00～17：40	サン・リフレ函館	8
フ ォ ト ニ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	30日(木) 31日(金)	13：00～17：00 13：00～14：50	北見工業大学	9
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	24日(金)	13：20～16：55	新潟大学・駅南キャンパス「ときめいと」	13
ア ン テ ナ ・ 伝 播	27日(月) 28日(火)	10：10～17：15 10：30～16：40	新潟大学・駅南キャンパス「ときめいと」	13
衛 星 通 信 無 線 通 信 シ ス テ ム	30日(木) 31日(金)	9：15～18：40 9：15～16：30	高知市文化プラザ・かるぼーと	17
8月休会の研究会；環境電磁工学，ネットワークシステム，情報ネットワーク，通信方式，電子通信エネルギー技術，コミュニケーションクオリティ，情報通信マネジメント，モバイルマルチメディア通信，インターネットアーキテクチャ，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
シ リ コ ン 材 料 ・ デ バ イ ス 集 積 回 路	2日(木) 3日(金)	9：10～18：50 9：00～16：45	札幌市男女共同参画センター	前号
電 子 部 品 ・ 材 料	8日(水) 9日(木)	13：00～17：40 9：00～12：35	山形大学・工学部・100周年記念会館	10
機 構 デ バ イ ス 電 子 部 品 ・ 材 料 光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 信 頼 性	23日(木) 24日(金)	9：30～18：25 9：00～18：10	東北大学・電気通信研究所	11
8月休会の研究会；磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子デバイス，電磁界理論，マイクロ波，有機エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
人 工 知 能 と 知 識 処 理 サ ー ビ ス コ ン ピ ュ ー テ ィ ン グ	20日(月)	13：00～17：40	国立情報学研究所	6
ソ フ ト ウ ェ ア イ ン タ プ ラ イ ズ モ デ リ ン グ	21日(火)	13：05～16：35	東京工芸大学・中野キャンパス	6
言 語 理 解 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	30日(木) 31日(金)	13：00～17：55 10：00～16：30	富士ゼロックス・R&Dスクエアホール	6

パターン認識・メディア理解 情報論的学習理論と機械学習	9月2日(日) 3日(月)	10:00~18:00 9:30~17:00	東京農工大学・小金井キャンパス	7
データ工学	1日(水) 2日(木)	10:00~12:00 10:30~16:30	名古屋大学・野依記念学術交流館	14
コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング	2日(木) 3日(金)	13:30~18:30 9:00~18:30	とりぎん文化会館	15
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム 画像工学 マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	27日(月) 28日(火)	13:30~18:10 9:00~16:50	山口大学・理工学部・吉田キャンパス	16
8月休会の研究会；MEとバイオサイバネティックス，コンピュータシオン，ソフトウェアサイエンス，パターン認識・メディア理解，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，音声，教育工学，医用画像，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，クラウドネットワークロボット				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日	時	会場	告頁
ヒューマンコミュニケーション基礎	18日(土)	9:00~19:10	立命館大学・びわこ・草津キャンパス	15
8月休会の研究会；ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎，福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ	8月9日(木)，10日(金)	北海道大学	21
短距離無線通信研究会 (SRW)	8月20日(月)	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	21
第4回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会	8月30日(木)	サン・リフレ函館	21
CQサマースクール「コミュニケーションクオリティ概論とOpenFlow実習」	8月30日(木)，31日(金)	国立情報学研究所	22

◇第二種研究会発表募集案内

第6回再生可能集積システム時限研究会	10月13日(土)	山形大学・工学部・米沢キャンパス	23
第49回機能集積情報システム研究会	10月19日(金)	東洋大学・川越キャンパス	23
第17回ネットワークソフトウェア研究会	10月25日(木)，26日(金)	国民宿舎小豆島ふるさと荘交流センター	23
第10回QoSワークショップ	11月2日(金)	東京工業大学・大岡山キャンパス・蔵前会館	24
第2回安全・安心な生活のための情報通信システム研究会	11月15日(木)，16日(金)	新潟大学・駅南キャンパス「ときめいと」	25
第26回多値論理とその応用研究会	1月12日(土)，13日(日)	上智大学・四谷キャンパス	25

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治
幹事 森山甲一・片上大輔

★サービスコンピューティング研究会 (SC)

専門委員長 村上陽平 副委員長 石川冬樹
幹事 田仲正弘

日時 8月20日(月) 13:00~17:40

会場 国立情報学研究所 12F 会議室 (<http://www.nii.ac.jp/access> 石川冬樹 (NII)・川村隆浩 (東芝))

議題 「サービス・クラウドにおける AI 応用」及び一般

1. [招待講演] Web 開発者のための大規模サービス技術入門 (仮) 田中慎司 (はな)
2. Zigbee 規格を利用したワイヤレス高齢者見守りセンサシステム ○坪井辰之助・大塚孝信・吉村卓也・伊藤孝行 (名工大)
3. 発表スライド・音声・キーワードの構造化による議事録作成システムの提案 ○金子裕希・真部雄介・菅原研次 (千葉工大)
4. SaaS 型クラウド・システム WebELS による教育・研究の国際連携 上野晴樹 (NII)
5. エンタープライズクラウドのサービスレベル管理の自動化を支援する管理機構の開発と評価 ○大野允裕・外川遼介・富沢伸行・八木真二郎・岡田 勲 (NEC)
6. サービスコンピューティングによる実用的アプリケーションのマッシュアップ ○須永 宏・相原隆志・古川里奈 (阪工大)
7. 階層的サービス連携のためのキャッシュ機構 ○田仲正弘・村上陽平 (NICT)
8. SCC/ICWS/CLOUD2012 の会議報告 村上陽平 (NICT)

☆AI 研究会

【問合先】

人工知能と知識処理研究会幹事
E-mail : ai-staff@mail.ieice.org

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保
幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

日時 8月21日(火) 13:05~16:35

会場 東京工芸大学中野キャンパス (中野区本町 2-9-5. 地下鉄東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線: 中野坂上駅下車徒歩約 7 分. <http://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/access/#nakano> TEL [03] 3372-1321 宇田川佳久)

議題 インタプライズモデル化技術, 一般

1. [特別講演] ビックデータと社会基盤としての ICT 森川博之 (東大)
2. システム開発における要件定義の効率化について ○石野正彦 (福井工大)・工藤 司 (静岡理工大)・五月女健治 (法政大)・片岡信弘 (東海大)
3. ヴァーチャルマシンの分散バックアップモデルの検討 有野真史
4. マイコンセンサを使ったクールビズの効果測定について

5. Measuring structure metrics of Java framework Struts 2 Yoshihisa Udagawa (Tokyo Polytechnic Univ.)
6. R を活用した M2M ストリーム分析システムの試作 ○北上真二 (三菱電機)・山本森樹 (アイテック)・小泉寿男 (東京電機大)

【問合先】

坂下善彦 (湘南工科大)
E-mail : sakasita@info.shonan-it.ac.jp

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 増市 博・竹内孔一
幹事 柳原 正・西崎博光 幹事補佐 金山 博・大塚裕子

日時 8月30日(木) 13:00~17:55
31日(金) 10:00~16:30

会場 富士ゼロックス R & D スクエアホール (横浜市西区みなとみらい 6-1. JR・東急・京急・相鉄・地下鉄: 横浜駅徒歩 8 分. みなとみらい線: 新高島駅徒歩 3 分. <http://www.fujixerox.co.jp/company/profile/location/map002.html>)

議題 第 2 回テキストマイニング・シンポジウム

30 日 抽出

1. 節の分類情報を用いた地方議会会議録における要求・要望表現抽出 ○葦原史敏 (北大)・木村泰知 (小樽商科大)・荒木健治 (北大)
2. 営業支援システム内に蓄積されたテキストデータからの課題記述文抽出 ○杉原大悟・大熊智子・佐竹功次・三浦康秀・服部圭悟・増市 博 (富士ゼロックス)
3. 特許文書からの化学物質情報の抽出 ○田中一成・池田紀子 (富士通研)
4. [基調講演] テキストマイニングの可能性—有用性と研究の発展性— 那須川哲哉 (日本 IBM)

分析

5. 日中時系列ニュース・ブログにおけるトピックモデルの推定と分析 ○胡 碩・鄭 立儀・高橋佑介・小池大地・牧田健作・宇津呂武仁 (筑波大)・吉岡真治 (北大)
6. 検索ホットワードとブログ系テキストの関係を探る ○菊井玄一郎・門内健太 (岡山県立大)・高橋寛幸 (NTT レゾナント)
7. コメントとしてつぶやかれた短文の感情推定 但馬康宏 (岡山県立大)

31 日午前 情報の整理

1. 障害対応記録からの関連キーワード抽出と可視化手法の検討 ○瀬川 修 (中部電力)・村上一彦・古里宗寛 (中電シティーアイ)
2. 閲覧目的を考慮した Web リソースの多視点クラスタリングシステムの提案と試作 ○田中 純・吉田博哉 (神戸情報大)
3. 時系列テキストデータからのアラート情報の抽出と俯瞰 ○塚原朋哉・高梨勝敏・宮内秀彰・佐藤俊也 (日立東日本ソリューションズ)
4. 高齢者の履歴書からの特徴語抽出によるスキルの発見とマッチング ○三浦貴大 (東大)・小林正朋 (日本 IBM)・檜山 敦 (東大)・高木啓伸 (日本 IBM)・廣瀬通孝 (東大)

31 日午後 (13:30~)

5. [招待講演] 調整中

検索・調査

6. クエリと説明文の関係を表す記述要素辞書の構築
○久保木武承・山本和英 (長岡技科大)
7. 手掛かり語による論文概要中の問題文の特徴付け
○酒井敏彦・廣川佐千男 (九大)
8. テキストマイニングにおける通信路復号化と情報源復号化一
校訂・ウィルス予防・情報源誤り訂正・統一
得丸公明 (システムエンジニア)

○30日 18:20~20:20, 懇親会を開催します.

☆NLC研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月27日(土), 28日(日) はこだて未来大 [8月17日
(金)] テーマ:感情・評価・態度

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

日時 9月2日(日) 10:00~18:00
3日(月) 9:30~17:00

会場 東京農工大学小金井キャンパス工学部講義棟 1F L0012
(第一会場), L0013 (第二会場) (小金井市中町 2-24-16. JR
中央線:東小金井駅下車, 南口から徒歩約10分. http://www.tuat.ac.jp/basic_information/access/koganei/route/index.html TEL [042] 388-7583 堀田政二)

議題 コンピュータビジョンとパターン認識のための機械学習及
び企業ニーズセッション

2日午前 一般セッション1 (10:00~11:30)

IBISML-1. 公正・差別配慮型マイニングのサーベイ
神鳥敏弘 (産総研)

IBISML-2. 木構造を用いたグラフ分割の構造変化検知について
○佐藤翔一・山西健司 (東大)

PRMU-3. 発見的自己組織化の原理を用いてニューラルネット
ワーク構造を自己組織化する改良形 GMDH-type ニューラル
ネットワークによる肝臓癌の医用画像診断

○近藤 正・上野淳二・高尾正一郎 (徳島大)

テーマセッション1 (10:00~11:30)

IBISML-4. 競合学習を用いた情報理論的クラスタリング—文書
クラスタリングにおける基準及びアルゴリズムの比較—

内山俊郎 (NTT)

PRMU-5. 映像のセマンティックインデクシングのための q-混
合ガウス分布 ○井上中順・篠田浩一 (東工大)

PRMU-6. 距離画像センサを用いた屋内環境のための行動認識
の一手法 ○弓場 竜 (日立)・縣 禎輝・藤吉弘亘 (中部大)

2日午後 特別講演 (13:00~14:00)

IBISML-7. [特別講演] IBMにおける機械学習研究と応用
井手 剛 (IBM)

一般セッション2 (14:15~15:45)

PRMU-8. Multi instance multi label classification by using KNN
for feature selection ○Shuang Bai・

Tetsuya Matsumoto (Nagoya Univ.)・

Yoshinori Takeuchi (Daido Univ.)・Hiroaki Kudo・

Noboru Ohnishi (Nagoya Univ.)

PRMU-9. Conformal Geometric Algebra を用いた道路物理境界
検出 ○石田皓之・目黒淳一・小島祥子・内藤貴志 (豊田中研)

PRMU-10. 画像内テキスト領域の検出

○平野廣美 (楽天技研)・岡部 誠 (電通大/JST PRESTO)

一般セッション3 (CVIM) (14:15~15:45)

11. 屋外環境に適した自己位置推定及び地図生成アルゴリズム
○上田雄大・新田直也 (甲南大)

12. 輪郭によるフェイスアライメントにおける姿勢変化への対応
のための顔輪郭の利用について ○高野博幸・

出口光一郎 (東北大)

13. 多波長画像を用いた照度差ステレオ法の精度向上

○高谷剛志・向川康博・八木康史 (阪大)

企業ニーズセッション (16:00~18:00)

14. 企業ニーズセッション

パネリスト:柴藤 稔 (NTTドコモ)・松田晃一 (ソニー)・

鷲見和彦 (青学大)・他 (予定)

3日午前 テーマセッション2 (10:00~11:30)

PRMU-1. 照明適応を含むパターン認識系の構成と顔追跡・認
識への応用 ○尺長 健・中岸久佳・岡 裕希 (岡山大)

PRMU-2. 混合ガウスモデルを用いた画像アノテーション手法
に対するノンパラメトリックベイズ法の適用 ○坪下幸寛・

加藤典司・福井基文 (富士ゼロックス)・岡田真人 (東大)

PRMU-3. 車載カメラを用いた走行環境適応型歩行者検出器に
関する予備的検討 ○鈴尾大地・出口大輔・井手一郎・

村瀬 洋 (名大)・町田貴史・小島祥子 (豊田中研)

一般セッション4 (9:30~11:30)

PRMU-4. 大規模画像データセットを用いたマルチクラス物体
検出器の同時学習—物体毎に特化した負例クラスの導入—

○金崎朝子・稲葉 翔・牛久祥孝・山下裕也・村岡宏是・

原田達也・國吉康夫 (東大)

PRMU-5. [サーベイ論文] 統計的学習手法による人検出

○山内悠嗣 (中部大)・山下隆義 (和研)・藤吉弘亘 (中部大)

PRMU-6. グループ内関係性を用いた複数人行動認識

○小田嶋成幸・下坂正倫・金子卓弘・福井 類・

佐藤知正 (東大)

3日午後 チュートリアル (13:00~14:00)

7. スパース表現の数理とその応用 ○村田 昇・
日野英逸 (早大)

一般セッション5 (14:15~15:45)

PRMU-8. これまでの PRMU アルゴリズムコンテストを振り
返って ○出口大輔 (名大)・亀田能成・北原 格 (筑波大)・

近藤一晃 (京大)・島田敬士 (九大)・日浦慎作 (広島市大)

PRMU-9. オプティカルフロー計算の多重解像度の階層的性質

○亀田裕介・井宮 淳 (千葉大)・酒井智弥 (長崎大)

PRMU-10. オプティカルフロー計算の境界条件の性質

○亀田裕介・井宮 淳 (千葉大)・酒井智弥 (長崎大)

CVIM コメント制度セッション (14:15~15:45)

11. ドロネー三角形分割を用いた事後確率分布推定に基づくスコ
アレベル統合 ○榎原 靖 (阪大)・

モハマド アルタブ ホサイン (ラジック大)・村松大吾・

岩間晴之・チュン タン ゴ・八木康史 (阪大)

12. 複数プロジェクトを利用した情報の計測・提示システムとそ
の応用 ○坂上文彦・佐藤 淳 (名工大)

13. 共面性条件による3次元復元とその自由度について

○古川 亮 (広島市大)・川崎 洋 (鹿児島大)・
佐川立昌 (産総研)

一般セッション6 (16:00~17:00)

PRMU-14. NN-based Local Subspace Method for Image Registration with Sparse Dictionary ○Hayato Itoh・
Atushi Imiya (Chiba Univ.)・Tomoya Sakai (Nagasaki Univ.)

PRMU-15. 撮影時期の異なる同一シーン画像間の照合方式に関する研究 ○石丸光宏・佐藤 誠 (東工大)

一般セッション7 (16:00~17:00)

PRMU-16. 多様なスケールでの関係を考慮した条件付き確率場による集団行動認識 ○金子卓弘・下坂正倫・
小田嶋成幸・福井 類・佐藤知正 (東大)

PRMU-17. 生成型学習法を用いた傘をさした歩行者の高精度な検出に関する検討 ○吉田英史・出口大輔・井手一郎・
村瀬 洋 (名大)・町田貴史・小島祥子 (豊田中研)

◆情報処理学会; コンピュータビジョンとイメージメディア研究会連催

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月4日(木), 5日(金) 幕張メッセ〔締切済〕テーマ: パターン認識によるインタフェースの未来

12月13日(木), 14日(金) 山形大〔10月8日(月)〕テーマ: 持続可能な社会に貢献するパターン認識

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】
PRMU 研究会幹事
E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆IBISML 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月7日(水)~9日(金) 筑波大東京キャンパス文京校舎〔9月12日(水)〕テーマ: 第14回情報論的学習理論ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

——北海道支部における開催——

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司
幹事 平野 章・斎藤恒聡

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 富田 茂
幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

◎本研究会は OCS 研究会と OFT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月30日(木) 13:15~17:20

31日(金) 9:00~17:40

会場 サン・リフレ函館 (函館市大森町 2-14. 函館空港から車で 20 分. JR 函館駅から徒歩 15 分. 市電松風町停留所から徒歩 10 分. 函館バス: サン・リフレ函館前停留所から徒歩 1 分.
<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/access/address.html>)

議題 【光ファイバ伝送路】光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

30 日

OCS-1. 逆結合型長周期ファイバグレーティングの結合条件 ○中野剛司・西 壽巳 (阪工大)

OCS-2. Laminated polymer waveguide fan-out device for uncoupled multi-core fibers ○Tatsuhiko Watanabe・
Yasuo Kokubun (Yokohama Nat'l Univ.)

OCS-3. マルチコアファイバ用ファイババンドルタイプファンアウトの開発 ○渡辺健吾・齋藤恒聡・今村勝徳・
椎野雅人 (古河電工)

OFT-4. マルチコアファイバ用ファンイン, ファンアウト部品のコア配列 ○八若正義・田中正俊・佐々木 茂・
藤巻洋介・谷口浩一 (三菱電線)

OFT-5. マルチコアファイバ用インターフェイスに関する検討 ○小倉 明・大園和正・姚 兵・渡邊智紀 (日立電線)・
関谷晴彦エジソン・齋藤和也 (豊田工大)

OFT-6. マルチコア伝送用のバンドル型光ファイバアンプの検討 ○辻川恭三・馬 麟 (NTT)・市井健太郎・
松尾昌一郎 (フジクラ)・山田 誠 (阪府大)・半澤信智・
小野浩孝 (NTT)

OFT-7. A bend-insensitive heterogeneous trench-assisted multi-core fiber with large effective area ○Jiajing Tu・
Kunimasa Saitoh・Masanori Koshiba (Hokkaido Univ.)・
Katsuhiko Takenaga・Shoichiro Matsuo (Fujikura)

OCS-8. Aeff 拡大型 2 モードマルチコアファイバ ○竹永勝宏・佐々木雄佑・官 寧・松尾昌一郎 (フジクラ)・
笠原基幹・齋藤晋聖・小柴正則 (北大)

OCS-9. マルチコアファイバのクロストークの Q 値への影響 ○林 哲也・佐々木 隆・笹岡英資 (住友電工)

OCS-7. A bend-insensitive heterogeneous trench-assisted multi-core fiber with large effective area ○Jiajing Tu・
Kunimasa Saitoh・Masanori Koshiba (Hokkaido Univ.)・
Katsuhiko Takenaga・Shoichiro Matsuo (Fujikura)

OCS-8. Aeff 拡大型 2 モードマルチコアファイバ ○竹永勝宏・佐々木雄佑・官 寧・松尾昌一郎 (フジクラ)・
笠原基幹・齋藤晋聖・小柴正則 (北大)

OCS-9. マルチコアファイバのクロストークの Q 値への影響 ○林 哲也・佐々木 隆・笹岡英資 (住友電工)

OCS-7. A bend-insensitive heterogeneous trench-assisted multi-core fiber with large effective area ○Jiajing Tu・
Kunimasa Saitoh・Masanori Koshiba (Hokkaido Univ.)・
Katsuhiko Takenaga・Shoichiro Matsuo (Fujikura)

OCS-8. Aeff 拡大型 2 モードマルチコアファイバ ○竹永勝宏・佐々木雄佑・官 寧・松尾昌一郎 (フジクラ)・
笠原基幹・齋藤晋聖・小柴正則 (北大)

OCS-9. マルチコアファイバのクロストークの Q 値への影響 ○林 哲也・佐々木 隆・笹岡英資 (住友電工)

OFT-1. 多角形クラッドマルチコアファイバの機械強度特性 ○田中正俊・石田智彦・藤巻洋介・楠 修一・
谷口浩一 (三菱電線)

OFT-2. Fiber Fuse in Multi Core Fibers ○Edson Haruhico Sekiya・
Kazuya Saito (Toyota Technological Inst.)・
Yao Bing・Akira Ogura・Kazumasa Ohsono (Hitachi Cable)

OFT-3. 広帯域零モード分散を実現するモード分割多重伝送用 2 モード光ファイバの検討 ○丸山 遼・桑木伸夫・
松尾昌一郎・佐藤公紀 (フジクラ)・大橋正治 (阪府大)

OFT-4. 群遅延補償伝送路を用いた WDM-MIMO 伝送 ○坂本泰志・森 崇嘉・山本貴司 (NTT)・
富田 茂 (NTT-AT)

OCS-5. 選択的モード励振による GI-MMF を用いた広帯域 WDM コヒーレント光 MIMO 伝送 ○森 崇嘉・
坂本泰志・山本貴司・東 裕司 (NTT)

OCS-6. 2 モードファイバでのモード分割多重伝送における MIMO 信号処理の要求演算量 ○中澤昌哉・吉田悠来・
丸田章博・北山研一 (阪大)

OCS-7. リングコア型純シリカコアファイバ ○春名徹也・
田村欣章・平野正晃・佐々木 隆 (住友電工)

OCS-5. 選択的モード励振による GI-MMF を用いた広帯域 WDM コヒーレント光 MIMO 伝送 ○森 崇嘉・
坂本泰志・山本貴司・東 裕司 (NTT)

OCS-6. 2 モードファイバでのモード分割多重伝送における MIMO 信号処理の要求演算量 ○中澤昌哉・吉田悠来・
丸田章博・北山研一 (阪大)

OCS-7. リングコア型純シリカコアファイバ ○春名徹也・
田村欣章・平野正晃・佐々木 隆 (住友電工)

31 日午後 (13:10~)

OFT-8. Refractive Index Profile Changes Caused by Arc Discharge in Arc-Induced Long-Period Fiber Gratings

Fatemeh Abrishamian (Osaka Electro-Comm. Univ.)・
Nicoleta Dragomir (Victoria Univ.)・

○Katsumi Morishita (Osaka Electro-Comm. Univ.)

OFT-9. 固形屈折率整合材を用いた新しい光ファイバ接続方法の提案

○田中正徳・渡辺 汎・木原 満・
高谷雅昭 (NTT 東日本)

OFT-10. 固形状屈折率整合剤を用いた外被把持スプライスの損失特性

○齊藤浩太郎・中島和秀・倉嶋利雄 (NTT)

OFT-11. 多心低摩擦インダアケーブルの開発

○塚本昌義・今田栄治・岡田 昇 (古河電工)

OCS-12. 強く結合した 2 次元 2 平行導波路系における光の挙動の解析解と近似解—強結合導波路アレイにおける光の挙動に対する近似法の提案—

狐崎直文 (青学大)

OCS-13. Influence of channel misalignment of time-interleaved DAC on sensitivity degradation in coherent receivers

○Changyo Han・Koji Igarashi・
Kazuro Kikuchi (Univ. of Tokyo)

OCS-14. Alleviation of Additional Phase Noise in Saturated Optical Parametric Amplifier Based Signal Regenerator

○Jin Lei・Xu Bo・Shinji Yamashita (Univ. of Tokyo)

OFT-15. AR 技術を用いた所内光作業ナビゲーションシステムの作業性に関する検討

○大串幾太郎・片山和典・
東 裕司 (NTT)

OFT-16. 外被把持型波長選択ターミネーションの高遮断化

○真保 誠・荒木則幸・碓 茂樹 (NTT)

OFT-17. フィルタ直付けファイバを用いた光検出コネクタの開発

○井上園美・増田有希・白石維孝・濱田眞弘・
平尾浩司 (住電オコム)

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 25 日 (木), 26 日 (金) ホテルメリージュ (宮崎) [8 月 13 日 (月)] テーマ: 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

11 月 21 日 (水), 22 日 (木) 市民会館崇城大学ホール [9 月 7 日 (金)] テーマ: 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

第一種研究会開催案内

◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年 9 月～翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい。

☆OFT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 25 日 (木), 26 日 (金) 海峡メッセ下関 [8 月 6 日 (月)] テーマ: 一般

11 月 21 日 (水), 22 日 (木) 市民会館崇城大学ホール [9 月 7 日 (金)] テーマ: 光アクセスシステム・次世代 PON, 地上・衛星放送システム, 衛星通信システム, CATV システム, イーサネット, 伝送監視制御, 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光線路保守監視・試験技術, 光ファイバ測定技術, 地上・衛星放送関連デバイス・機器・設備, 家庭用受信デバイス・機器, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光回路部品, 周波数有効利用技術, 変復調技術, 電磁界解析及びシミュレーション技術, 無線・光伝送境界領域, 光ケーブル布設技術, 光ファイバ線路設計技術, 光ファイバ線路構成部品信頼性, 空間・可視光伝送, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)

TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340

E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

★フットニックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 和田尚也

副委員長 荒木壮一郎・坂野寿和・戸出英樹

幹事 大木英司・長谷川 浩

幹事補佐 荒川伸一・品田 聡・釣谷剛宏

日時 8 月 30 日 (木) 13:00~17:00

31 日 (金) 13:00~14:50

会場 北見工業大学 (北見市公園町 165. JR 北見駅より北海道北見バス乗車, 「工業大学入口」停留所で下車し徒歩 10 分弱。
http://www.kitami-it.ac.jp/public_relations/outline/about-kit/place.html)

議題 フットニックネットワーク関連技術, 一般

30 日

1. スーパーコンピュータやデータセンター網でのアナログコヒーレント受光 太田昌孝 (東工大)
2. 16 QAM 光パケットスイッチングと小型ファイバ遅延線バッファの検討 ○品田 聡・中村守里也・和田尚也 (NICT)
3. 位相変調器を用いたスペクトル圧縮技術の 6 bit 光量子化への適用 ○佐藤豪真 (阪大)・
Aymeric Van de Walle (LCFIO)・伊東一良・
小西 毅 (阪大)
4. デュアルレール全光量子化を用いた 6 bit 全光量子化の検討 ○永島知貴・佐藤豪真 (阪大)・
Aymeric Van De Walle (LCFIO)・伊東一良・
小西 毅 (阪大)
5. 光 CDM を用いた非競合光ブロードキャストネットワークの構築 ○福田達也・馬場健一・下條真司 (阪大)

6. [招待講演] OpenFlow enabled software-defined packet transport network ○林谷昌洋・飯澤洋平・長谷川洋平・水越康博・荒木壮一郎 (NEC)
7. [招待講演] ネットワークをフル活用した戦略的防衛医療構想—医療クラウドと情報薬— ○辰巳治之・新見隆彦・溝口照悟 (札幌医大)

31日

1. 多様なパス設定要求に即時に回答できる光ネットワーク情報管理システム ○高田将司・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)
2. Content-based Switching Network—An Architecture for Both Small and Large Contents Switching— ○Christophe Michard・Yosuke Tanigawa・Hideki Tode (Osaka Prefecture Univ.)
3. 光パケット・光パス統合ネットワークテストベッドに向けた経路設定ソフトウェアの開発 ○古川英昭・宮澤高也・和田尚也・原井洋明 (NICT)
4. Analysis of Optical Path/Packet Integrated Networks ○Onur Alparslan・Shin'ichi Arakawa・Masayuki Murata (Osaka Univ.)

◎PN ワークショップ (合宿形式) 及び PN 学生ワークショップ (31日 9:30~12:00) を同時に開催します。

☆PN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月5日(月), 6日(火) 日本女子大 [9月14日(金)]
 テーマ: IP バックボーンネットワーク, MPLS, GMPLS, フォトニックネットワーク及び一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

大木英司 (電通大)
 TEL [042] 443-5195, FAX [042] 443-5926
 E-mail: oki@ice.uec.ac.jp

長谷川 浩 (名大)
 TEL [052] 789-4423, FAX [052] 789-3641
 E-mail: hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

——東北支部における開催——

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄
 幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 8月1日(水) 14:00~17:50
 2日(木) 10:00~15:30

会場 東北学院大学土樋キャンパス (仙台市青葉区土樋1-3-1。
 JR 仙台駅から徒歩20分または地下鉄五橋駅または愛宕橋駅から徒歩5分。 <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campusmap/tsuchitai.html> TEL [022] 368-7196 岩谷幸雄)

議題 音響信号処理, 聴覚, 一般

1日

1. GPU クラスタによる音空間レンダリングと高精細可聴化
 ○土屋隆生・石井琢人 (同志社大)・岩谷幸雄 (東北学院大)・大谷 真 (信州大)
2. 252ch リアルタイム音空間情報取音再生システム SENZI の音空間再現精度改善手法の検討 ○坂本修一・松永純平 (東北大)・本郷 哲 (仙台高専)・

岡本拓磨 (NICT)・岩谷幸雄 (東北学院大)・鈴木陽一 (東北大)

3. スケラブルオーディオ符号化のための可聴化雑音の抑圧
 安藤彰男 (NHK)
4. Study on method of digital-audio watermarking based on cochlear delay in sub-bands ○Ngo Nhut Minh・Wang Shengbei・Masashi Unoki (JAIST)
5. Study on Power Envelope Subtraction Based on Modulation Transfer Function ○Yang Liu・Masashi Unoki (JAIST)

2日午前

1. デジタルチャンネルデバィダを用いたスピーカシステムの音質改善 ○富永秀樹・豊沢 聡 (徳山大)
2. 頭部回転に頑健なクロストークキャンセラのためのラウドスピーカ配置 ○韓 チョルス (東北大)・岡本拓磨 (NICT)・岩谷幸雄 (東北学院大)・鈴木陽一 (東北大)
3. オーディオ再生方式が AV コンテンツの臨場感に及ぼす影響とそのモデル化 大日方将士・小澤賢司・木下雄一朗 (山梨大)

2日午後 (13:30~)

4. 骨伝導アクチュエータによるラウドネスと加速度特性の関連性について—耳道挿入型及び下顎頭装着型アクチュエータ— ○福田吉真・荻木禎史・宇佐川 毅 (熊本大)
5. 予測誤差法を用いた頭部伝達関数の多方向推定における同時推定方向数の検証 ○石川健太郎 (慶大)・丸田一郎 (京大)・足立修一 (慶大)・松井健太郎・安藤彰男 (NHK)
6. 反射を含むインパルス応答を用いた AR モデルに基づく頭部伝達関数の推定—複数音源位置のインパルス応答を用いた推定手法の検討— ○高根昭一・安倍幸治・渡邊貫治・佐藤宗純 (秋田県立大)

◆日本音響学会; 電気音響研究会, 聴覚研究会共催

◎1日研究会終了後に懇親会を開催しますので, 御参加下さい。

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月 休会

10月27日(土), 28日(日) 牛岳温泉リゾート (富山) [未定] テーマ: 一般

11月 大分 [未定]

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

戸上真人 (日立中研)
 TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823
 E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰
 幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

日時 8月8日(水) 13:00~17:40
 9日(木) 9:00~12:35

会場 山形大学工学部100周年記念会館セミナー室

議題 電子部品・材料, 一般

8日

1. HWCVD 法により低温形成した SiC 薄膜の成長圧力依存性
 ○阿部克也・周 澤宇・山上朋彦 (信州大)

2. Si (100) 基板/AlN 中間層上への 3C-SiC ヘテロエピタキシャル成長 ○中澤日出樹・鈴木大樹・成田次理・山本陽平 (弘前大)
3. ガスソース MBE 法による高密度 Ge ナノドット/SiC 積層構造の作製とその発光特性 ○姉崎 豊・佐藤 魁・加藤孝弘・加藤有行 (長岡技科大)・末光真希 (東北大)・中澤日出樹 (弘前大)・成田 克 (山形大)・安井寛治 (長岡技科大)
4. MOVPE 法による Si 基板上 GaP と Si 表面処理の関係 高木達也・宮原 亮・堀江陽介・○高野 泰 (静岡大)
5. 塩素還元法を用いた W 及び Si の低温薄膜形成 ○柴田 明・渡邊雄仁・鹿又健作・鈴木貴彦・廣瀬文彦 (山形大)
6. 銅電極を用いたボトムコンタクト型有機 TFT の高性能化 ○宇津野裕弥・佐藤 翼・奥 慎也・水上 誠・福田憲二郎・熊木大介・時任静士 (山形大)
7. インクジェット法で形成した銀ナノ粒子電極を有するボトムコンタクト型有機 TFT のコンタクト抵抗 ○小林 悠・竹田泰典・南木 創・菅野 亮・福田憲二郎・熊木大介・時任静士 (山形大)
8. 有機太陽電池の反射防止多層膜のロバスト最適化 ○久保田 繁・鹿又健作・初山克章・鈴木貴彦・廣瀬文彦 (山形大)
9. MoOx ホール輸送層を用いた有機薄膜太陽電池の Ag 微粒子導入効果 ○吉田一樹・丹野優樹・栗原 啓・鹿又健作・初山克章・鈴木貴彦・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)
10. P3HT/n-Si のヘテロ接合を用いた太陽電池の高効率化の検討 ○金子 翔・大山直樹・鹿又健作・初山克章・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)

9日

1. 固相反応法を用いた鉄シリサイド薄膜の試作と整流デバイスへの応用 ○初山克章・鹿又健作・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)
2. 反応性スパッタによる ZrN_x ナノ結晶バリア膜の形成過程 ○佐藤 勝・武山真弓 (北見工大)・青柳英二 (東北大)・野矢 厚 (北見工大)
3. ラジカル反応を応用した低温での SiN_x 膜の作製 ○武山真弓・佐藤 勝 (北見工大)・中田義弘・小林靖志・中村友二 (富士通研)・野矢 厚 (北見工大)
4. DC-RF マグネトロンスパッタ法における Cr₂O₃ 薄膜の作製 ○中村拓未・黒田卓司・岩田展幸・山本 寛 (日大)
5. 面内配向単層カーボンナノチューブの自由電子レーザー照射効果 ○相良拓実・土肥智史 (日大)・石井宏治・矢島博文 (東京理科大)・岩田展幸・山本 寛 (日大)
6. 酸化チタンナノチューブ微小ガスセンサの作製 ○木村康男・小島領太・木村昭太・庭野道夫 (東北大)
7. 陽極酸化 TiO₂ ナノチューブ形成過程に及ぼす電解液組成の影響 ○小島領太・木村康男・庭野道夫 (東北大)
8. 赤外吸収分光を用いたシリコン酸化膜の室温原子層堆積法の素過程評価 ○鹿又健作・初山克章・久保田 繁・廣瀬文彦 (山形大)

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔締切済〕テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
- 9月25日(火) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 光記録技術・電子材料, 一般

第一種研究会開催案内

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏
幹事 馬渡宏泰・田村信幸
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰
幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁
幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治
幹事 篠田和典・田中 有

日時 8月23日(木) 9:30~18:25
24日(金) 9:00~18:10

会場 東北大学電気通信研究所ナノ・スピコン総合研究棟4階カンファレンスルーム (<http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml>) 廣岡俊彦)

議題 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
23日午前

1. 二重格子ゲート HEMT 中二次元電子ガスにおけるプラズマ不安定性 ○佐藤 昭・志田広海 (東北大)・Viacheslav V. Popov (RAS)・尾辻泰一 (東北大)
2. 半導体レーザの周波数雑音特性を用いた物理乱数の生成—発振周波数安定化が物理乱数に及ぼす影響に関する考察— ○齊藤高大・古川元一・新井秀明・佐藤 孝・坂本秀一・大河正志 (新潟大)
3. 面発光型半導体レーザの周波数雑音を利用した物理乱数の生成に関する研究 ○川上航平・前原進也・土井康平・新井秀明・近藤堯信・清水直弥・佐藤 孝・坂本秀一・大平泰生・大河正志 (新潟大)
4. 磁界印加時における面発光型半導体レーザの発振特性変化の研究 ○田平慎一・河野桂子・土井康平・佐藤 孝・大河正志 (新潟大)
5. Rb 原子の吸収線の飽和吸収分光法を用いた半導体レーザの発振周波数安定化とその応用 ○高田康平・二文字俊哉・松本航平・佐藤 孝・大河正志 (新潟大)
6. 光周波数安定化 Cs 光原子時計の性能改善 ○得平和成・鈴木文崇・吉田真人・中沢正隆 (東北大)

23日午後 (13:15~)

7. [特別招待講演] 半導体発光デバイスの信頼性研究—総論と1990年代以降のトピックス— 上田 修 (金沢工大)
8. AlGaInAs 端面発光型レーザの信頼性向上 ○市川弘之・生駒暢之 (住友電工)
9. 光インターコネクション向け 1060 nm 帯面発光レーザー (VCSEL) における信頼性 ○神谷慎一・今井 英・舟橋政樹・鈴木理仁・平岩浩二・喜瀬智文・中村照幸・清水 均・石川卓哉・粕川秋彦 (古河電工)

告 11

10. GaInAsP/InP 半導体薄膜 DFB レーザの電流注入動作と熱特性解析 ○土居恭平・進藤隆彦・二見充輝・雨宮智宏・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)
11. 電流注入フォトニック結晶レーザ ○松尾慎治・佐藤具就・武田浩司 (NTT)
12. InAs/InGaAs 量子ドット構造を用いた広帯域光ゲインデバイスの開発 ○吉岡佑毅 (東京電機大)・山本直克・赤羽浩一・川西哲也 (NICT)・高井裕司 (東京電機大)・外林秀之 (青学大)
13. Optical properties of InGaAs/GaAsSb Type-II quantum-well light-emitting diodes Sundararajan Balasekaran・○Hiroshi Inada・Yasuhiro Iguchi・Michio Murata・Tsukuru Katsuyama (Sumitomo Electric)
14. 波長可変面発光レーザとスローライト光増幅器の平面集積構造の検討 ○中濱正統・佐野勇人・島田敏和・松谷晃宏・小山二三夫 (東工大)
15. ポリノルボルネン光導波路を用いた 24 チャンネル光電気複合モジュールの 16 Gbps/ch 伝送性能の実証 ○伊藤有香・寺田信介・兼田幹也・堀元章弘・荒井進也・長木浩司 (住友ベークライト)
16. 接合型自己形成光導波路の作製 ○杉原興浩・安田周平・戒能俊邦 (東北大)
- 24 日午前**
1. 分散チューニングを用いた高速・広帯域波長可変ファイバレーザの OCT 応用 ○田久保勇也・山下真司 (東大)
2. PMMA 含有 SWNT を可飽和吸収体として用いた 1.07 μm 帯受動モード同期 Yb ファイバレーザ ○吉田真人・堀 雄一郎・廣岡俊彦・中沢正隆 (東北大)
3. SWNT を用いた受動モード同期ファイバレーザの高出力化 ○小野敬人・堀 雄一郎・吉田真人・廣岡俊彦・中沢正隆 (東北大)・真多淳二・塚本 遵 (東大)
4. [招待講演] OECC2012 報告—パッシブデバイス・モジュール関連— 神田 淳 (NTT)
5. [招待講演] OECC2012 報告—アクティブデバイス— 望月敬太 (三菱電機)
6. 小型電気光複合アセンブリを用いたアクティブ光ケーブル ○大竹 守・阿部真也・西出研二 (フジクラ)
- 24 日午後 (12:45~)**
7. Ge 量子ドットを有するフリースタANDING構造 Si マイクロリング共振器の作製とその光学特性の評価 ○千葉太一・徐 学俊 (東京都市大)・宇佐美徳隆 (東北大)・丸泉琢也・白木靖寛 (東京都市大)
8. ワンチップ WDM レシーバに向けた石英系 AWG と GePD の Si プラットフォーム上モノリシック集積 ○西 英隆・土澤 泰・高 磊・開 達郎・福田 浩 (NTT)・石川靖彦・和田一実 (東大)・山田浩治 (NTT)
9. シリコン細線光導波路を用いた狭線幅波長可変レーザーの開発 ○北 智洋・根本景太・山田博仁 (東北大)
10. 小型・低電力動作 SiGe/Si 光スイッチ ○関口茂昭・倉橋輝雄・朱 雷・河口研一・森戸 健 (富士通研)
11. 液晶空間光変調器を用いた光スイッチ用高速収差補償アルゴリズム ○反本啓介 (慶大)・金高健二・河島 整・森 雅彦・挾間壽文・石川 浩 (産総研)・津田裕之 (慶大)・上塚尚登 (日立電線)
12. 石英系平面光波回路に集積した波長選択スイッチ用空間ビーム変換器 ○妹尾和則・鈴木賢哉・大庭直樹・渡辺俊夫・伊東雅之・阪本 匡・高橋哲夫 (NTT)
13. 光空間トランジスタの発明 ○岡本研正・藤田順一・渡辺健人・細川浩司 (香川大)
14. 光空間サイリスタの発明 ○藤田順一・岡本研正・波多江和喜 (香川大)
15. 光ファイバの機械強度に関する信頼性について ○麻生 修・松藤敏夫・石川卓哉・忠隈昌輝・乙須総一郎・八木 健・奥 誠人 (古河電工)
16. ニューテーション試験による LC コネクタ付光ケーブルの機械耐性評価 ○阿部宜輝・小林潤也・柳 秀一 (NTT)・長瀬 亮 (千葉工大)
17. BOF を用いた光ファイバセンサによる静水圧測定 ○松田健太郎・仲川雄大・長瀬 亮 (千葉工大)
18. レールと車輪間の電氣的接触抵抗が有する半導体特性のモデル化 ○遠山 喬・福田光芳・大和田厚祐・藤田浩由 (鉄道総研)
- ◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛
- ◎23 日の研究会終了後に懇親会を開催しますので是非御参加下さい。
- 会費: 一般 4,000 円, 学生及び招待講演者 2,000 円。
当日受付にてお申込み下さい。
- ☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10 月 19 日 (金) 九工大 [8 月 15 日 (水)] テーマ: 信頼性一般
11 月 15 日 (木) 中央電気倶楽部 [9 月 17 日 (月)] テーマ: 半導体と電子デバイスの信頼性, 信頼性一般
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合先】
木村光宏 (法政大)
TEL [042] 387-6116, FAX [042] 387-6126
E-mail: kim@hosei.ac.jp
- ☆EMD 研究会今後の予定
9 月 休会
- 【問合先】
長谷川 誠 (千歳科技大)
TEL & FAX [0123] 27-6059
E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp
関川純哉 (静岡大)
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp
服部康弘 (住友電装)
TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591
E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp
- ◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/> を御参照下さい。
- ☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
9 月 25 日 (火) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 光記録技術・電子材料, 一般
- ☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10 月 25 日 (木), 26 日 (金) ホテルメリージュ (宮崎) [8 月 13 日 (月)] テーマ: 超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会 HP を御覧下さい。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月25日(木)、26日(金) ホテルメリージュ(宮崎) [8月13日(月)] テーマ:超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7786

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者(学生を含む)です。積極的に御投稿下さい。

— 信越支部における開催 —

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 8月24日(金) 13:20~16:55

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口 1-1。JR 新潟駅南口徒歩 3 分, <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html> TEL [025] 248-8141 (会場) TEL [025] 262-6752 小林弘一)

議題 環境計測及び一般

1. 衛星搭載降雨レーダの観測における降雨エコーと地表面エコーの分離について 阿波加 純 (東海大)
2. 電界ベクトル計測を用いた雪氷の誘電率推定手法の検討
○長 康平 (ウェザーニューズ)・
ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ・
西尾文彦 (千葉大)

3. [特別講演] 偏波レーダデータの散乱電力分解について

山口芳雄 (新潟大)

4. Polarimetric Model-Based Decomposition with Generalized Scattering Models ○Si-Wei Chen・

Motoyuki Sato (Tohoku Univ.)

5. アンテナ特性を考慮した AF による近距離レーダ画像

○稲見麻央・小林弘一・山口芳雄 (新潟大)

6. 等速直線運動モデルを使用した NPn 法 小菅義夫 (長崎大)

7. 周波数重複度を用いた系分離方式 SMF の提案

○三原詩織・網嶋 武・平田和史 (三菱電機)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

◎研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆SANE 研究会

【問合先】

富木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良

幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 8月27日(月) 10:10~17:15

28日(火) 10:30~16:40

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口 1-1 プラウカ 1・2 階, 新潟駅南口から徒歩 3 分, <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html> 石井 望)

議題 測定, 電力伝送, 一般

27 日午前

A・P-1. 両手で保持されたタブレット端末 4 ブランチ MRC のインピーダンス自動整合に関する検討 ○山崎 誠・
本田和博・小川晃一 (富山大)

A・P-2. ハイブリッド結合器の特性を考慮した平衡型ダイポールアンテナの入力インピーダンス測定 ○早川準起・
石井 望 (新潟大)

A・P-3. 改良型 Wheeler 法におけるキャビティ共振による放射効率落ち込み回避法の比較 石井 望 (新潟大)

A・P-4. ループ型人工磁気導体のバンドギャップ特性

○久世竜司・堀 俊和・藤元美俊 (福井大)

27 日午後

A・P-5. 高 Q ファクター LC 共振器を用いた 950 MHz 帯長距離電力伝送用小形高効率レクテナ ○小川晃一・尾崎和平・
山田雅樹・本田和博 (富山大)

A・P-6. 曲率をもつパッチアンテナの放射特性に関する考察 小林弘一 (新潟大)

A・P-7. Development of 9.41 GHz Microstrip Antenna for Three Dimensional Weather Radar ○Sugar Adiya・
Josaphat Tetuko Sri Sumantyo・Takafumi Kawai・
Kohei Osa・Hiroaki Kuze (Chiba Univ.)

WPT-8. AGV 用非接触充電システムの試作と効率評価

○田端隆伸・山本貴久・堀 智 (小島カス)・
稲垣直樹 (名工大)

WPT-9. フラクタルアンテナを用いたワイヤレス送電の理論的検討
○桑原義彦・岩堀大希・大塚純季 (静岡大)

WPT-10. [招待講演] 自動車タイヤを介するゼロギャップ走行中給電
大平 孝 (豊橋技科大)

A・P-11. [AP-S Japan Chapter 特別講演] 地域住民と学生との協働によるまちづくりの仕組・課題・成果 (口頭発表)
西村伸也 (新潟大)

28 日午前

A・P-1. 3重球面鏡アンテナの設計法 浦崎修治 (広島工大)

A・P-2. 不均質分割モーメント法による解の収束性改善について
○荒畑早希・宇野 亨・有馬卓司 (東京農工大)

A・P-3. FDTD 法を用いた周期構造解析における縮退モードの検出手法について
○坂本寛明・宇野 亨・有馬卓司 (東京農工大)

28 日午後

WPT-4. 無線電力伝送用接地型ヘリカルアンテナ
○天野智博・平山 裕・菊間信良・榊原久二男 (名工大)

WPT-5. 2つヘリカル素子を用いた送受信ユニットを有する無線電力伝送システムの伝送効率
○星 貴博・袁 巧微 (仙台高専)

WPT-6. ダブルスパイラル共振器のつくる電磁界とその WPT システムへの応用
○栗井郁雄 (リュウテック)・澤原裕一・石崎俊雄 (龍谷大)

A・P-7. [チュートリアル講演] ワイヤレス電力伝送技術の実用化に向けた課題と取り組み
庄木裕樹 (東芝)

A・P-8. MIMO センサにおける相関係数の統計的性質に関する検討
○小川 研・山田寛喜・西森健太郎・山口芳雄 (新潟大)

A・P-9. 直接中継型リピータのアンテナ間アイソレーション評価
中野雅之 (KDDI 研)

A・P-10. フェーズドアレーアンテナにおける励振振幅位相の誤差低減手法
○栗山 侑・紀平一成・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)

◆無線電力伝送研究会併催, IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎27 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9 月 27 日 (木) KDDI 研 [締切済] テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 東京電機大東京千住キャンパス [9 月 10 日 (月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

高橋 徹 (三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆WPT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 8 日 (木), 9 日 (金) 機械振興会館 [未定] テーマ: 回路・制御技術関連, 無線電力伝送, 一般

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 中野美由紀 副委員長 森嶋厚行・木俣 豊
幹事 義久智樹・吉田尚史 幹事補佐 灘本明代・新谷隆彦

日時 8 月 1 日 (水) 10:00~12:00

2 日 (木) 10:30~16:30

会場 名古屋大学野依記念学術交流館 (名古屋市千種区不老町。
地下鉄: 名古屋駅から東山線: 藤ヶ丘行きに乗りし, 本山駅で
地下鉄名城線右回りに乗り換え, 名古屋大学駅下車。 <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>)

議題 ビックデータ工学及び一般

1 日午前 情報検索と類似検索

1. 道路網距離での旅行計画の為にインクリメンタル検索方式
○大沢 裕・トウ トウ (埼玉大)・曾根原 登・坂内正夫 (NII)

2. 部分的正規分布に基づくパタン分類法による入試採点誤り検出の検討
○鈴木雅人・北越大輔 (東京高専)

3. A Study on Similar Words Searching
○Zhenglu Yang・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

4. Exploration on Efficient Similar Sentences Extraction
○Yanhui Gu・Zhenglu Yang・Miyuki Nakano・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

2 日午前 ストリーム処理と I/O

1. 確率的なデータストリームに対する問合せ処理手法
○加藤 翔 (名大)・石川佳治 (名大/NII)

2. トランザクショナルなストリームデータ処理の実現方式
○小山田昌史・川島英之・北川博之 (筑波大)

3. VM ライブマイグレーションにおける大規模 I/O 処理挙動に関する一考察
○石田 渉・中野美由紀・豊田正史・横山大作 (東大)

2 日午後 情報推薦と教育 (13:30~)

4. 音声情報から抽出した利用者の情報嗜好に基づく情報推薦システムの検討
○本多宏至・鷹野孝典 (神奈川工科大)

5. 震災後の経済状況データベースを使った可視化教材作成
○白田由香利 (学習院大)・橋本隆子 (千葉商科大)・佐倉 環 (JCER)

グラフ処理

6. A Study on Graph Similarity Search
○Haichuan Shang・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

7. Empirical Study on Sentiment Classification using Graph-based Semi-supervised Learning Algorithms

○Yong Ren・Nobuhiro Kaji・Naoki Yoshinaga・Masashi Toyoda・Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

◎1 日 13:00~17:00, iDB メンター講演会が開催されます。

[問合先]

DE 研究会幹事

E-mail: de-org@mail.ieice.org

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史

幹事 井上智雄・渡邊伸行

幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

日時 8月18日(土) 9:00~19:10

会場 立命館大学びわこ・草津キャンパス(草津市野路東1-1-

1. http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_bkc_j.html
林 勇吾)

議題 「行為のタイミングとコミュニケーション」及び一般

1. トラブルシューティングにおけるノンテクニカルスキルの重要性—故障修理を題材として—
○高山千尋・大野健彦 (NTT)
2. 映像対話型行動記録におけるモダリティ間の関係と凝集性
○小泉敬寛・中村裕一・近藤一晃・小幡佳奈子 (京大)・渡辺靖彦 (龍谷大)
3. 展示制作打ち合わせ場面における演技中の振り向きを通じたイメージの共有
○平本 毅 (京大)・高梨克也 (JST/京大)
4. 問題解決状況における多数派と少数派のコミュニケーション過程
○松井隆幸 (名大)・林 勇吾 (立命館大)・三輪和久・寺井 仁 (名大)
5. 認知地図と角度認知の精度とタイミング
○篠原信之・佐藤未来子・並木美太郎 (東京農工大)
6. 語彙発達曲線に見られる階段状の変化の原因についての一考察
○荒木 修・深田 智・尾関基行・岡 夏樹 (京都工繊大)
7. [招待講演] 未定
8. 多人数インタラクション評価のための姿勢推定
○小松和朗・嶋田和孝・遠藤 勉 (九工大)
9. 会話参加者の顔の向きによる発話のアドレッシングを明示化する多人数ビデオチャットシステム環境の構築
○山本紗織・寺谷 望・中村有美香・渡辺成美・林 延徳・竹内勇剛 (静岡大)
10. 2者間遠隔映像コミュニケーションにおける食事の有無の効果
○古川大智・檜垣雄也・井上智雄 (筑波大)
11. 人間とロボットの応答タイミングがコミュニケーションに与える影響
○阪本綾香・林 勇吾・小川 均 (立命館大)
12. VMCシステムを介した共食場面の分析—人はいかにして食べることを話すことを協調的に管理するか?—
○秋谷直矩 (京大)・武川直樹・徳永弘子・湯浅将英・木村 敦 (東京電機大)
13. 6人会話における非言語情報と場の活性化に関する検討
○高嶋和毅 (東北大)・藤田和之 (阪大)・横山ひとみ (東北大)・伊藤雄一 (阪大)・北村喜文 (東北大)
14. プロト言語的コミュニケーションにおけるリーダー・フォロワーの分化
○宇野良子 (東京農工大)・飯塚博幸 (阪大)・鈴木啓介 (サセックス大)
15. 語りの構造に照応するジェスチャーの同期—2人が語り手になりうる3人会話において語りはどのように構成されるのか—
城 綾実 (学振)
16. 身体運動の記述に基づく空手の組手競技における駆け引きの考察
○西山武繁・諏訪正樹 (慶大)
17. 人と人のタッピング同期に関連した2者間の脳波リズム同期
○川崎真弘・北城主一・山口陽子 (理研)

18. オノマトペの音韻構造とジェスチャーのタイミング分析

細馬宏通 (滋賀県立大)

☆HCS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月13日(土) 東京電機大東京千住キャンパス [締切済]

テーマ: 顔とコミュニケーション

【問合せ先】

林 勇吾 (立命館大)

E-mail: yhayashi@fc.ritsumei.ac.jp

◎最新情報は、HCS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 天野英晴 副委員長 安里 彰・吉永 努

幹事 入江英嗣・中野浩嗣 幹事補佐 井上浩明

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

◎本研究会はCPSY研究会とDC研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月2日(木) 13:30~18:30

3日(金) 9:00~18:30

会場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5. JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ徒歩約20分. <http://www.torikenmin.jp/kenbun/> TEL [0857] 21-8700)

議題 2012年並列/分散/協調処理に関する『鳥取』サマーワークショップ(SWoPP鳥取2012)

2日 プロセッサアーキテクチャI(13:30~15:00)

CPSY-1. 2パス限定投機方式におけるループ展開の効果

○本間勇貴・十鳥弘泰・大津金光・大川 猛・横田隆史・馬場敬信(宇都宮大)

CPSY-2. 分岐予測を応用したループ内パス予測方式の検討

○金海和宏・十鳥弘泰・大津金光・大川 猛・横田隆史・馬場敬信(宇都宮大)

CPSY-3. 信頼できないOS上でアプリケーション認証を行うシステム

○山田剛史・五島正裕・坂井修一(東大)

プロセッサアーキテクチャII(15:15~16:45)

CPSY-4. フィルムコンピュータ実現に向けたエミュレータ専用小型CPUの検討

中島康彦(奈良先端大)

CPSY-5. セレクタ部に着目した演算器アレイ型アクセラレータの高信頼手法

○山中良祐・姚 駿・中島康彦(奈良先端大)

CPSY-6. 低消費電力アクセラレータCMAのコプロセッサ化について

○伊澤麻衣・小崎信明・小泉佑介・宇野理恵・天野英晴(慶大)

GPGPU(17:00~18:30)

CPSY-7. An Optimal Parallel Prefix-sums Algorithm on the Memory Machine Models for GPUs

中野浩嗣(広島大)

CPSY-8. GPGPU実装されたブロック暗号のための性能モデルの提案

○西川尚紀・岩井啓輔・黒川恭一(防衛大)

CPSY-9. CUDA向けフレームワークOpenMPCに対する適切

なメモリの自動選択による改良 ○内山寛章・津邑公暁・松尾啓志 (名工大)

3日午前 FPGA・メニーコア (9:00~10:30)

CPSY-1. 高位合成における回路分割の実装 ○國上太旗・天野英晴・宮島敬明 (慶大)

CPSY-2. リコンフィギャラブルシステム向けスケジューリングシミュレータの開発 ○宇田貴重・久我守弘・尼崎太樹・飯田全広・末吉敏則 (熊本大)

CPSY-3. メニーコアアクセラレータ搭載サーバにおけるマルチタスク環境でのスループット向上手法 ○宮本孝道・石坂一久・細見岳生・酒井淳嗣 (NEC)

並列計算 (10:45~12:15)

CPSY-4. 動画画像処理ライブラリ RaVioli における CPU と GPU を併用した自動並列化 ○大平真司・津邑公暁・松尾啓志 (名工大)

CPSY-5. ExpEther を用いたマルチ GPU システムの評価 ○野村鎮平・中浜徹也 (慶大)・樋口淳一・鈴木 順・吉川隆士 (NEC)・天野英晴 (慶大)

CPSY-6. 複数の並列計算環境における光シミュレーション用レイトレーシング法の高速度のための議論 ○蔵野裕己・吉見真聡・三木光範・廣安知之 (同志社大)

3日午後 ネットワーク (13:30~15:00)

CPSY-7. パーセプトロン予測を用いた TCP 輻輳制御 ○黒田隼之輔・谷田直輝・平木 敬 (東大)

CPSY-8. 長距離 TCP 通信時のバースト送信抑制を目的としたウィンドウ更新の細粒度制御手法 ○谷田直輝・稲葉真理・平木 敬 (東大)

CPSY-9. ランダムなネットワークトポロジのためのラック配置最適化 ○藤原一毅・鯉淵道紘 (NII)

クラウド I (15:15~16:45)

CPSY-10. MapReduce 処理系 SSS における Key Value Store アクセス手法の改良 ○中田秀基・小川宏高・工藤知宏 (産総研)

CPSY-11. 分散グラフ処理系を用いた大規模分散システムシミュレータ ○華井雅俊・首藤一幸 (東工大)

CPSY-12. MapReduce による分散システムのシミュレーション ○杉野好宏・華井雅俊・首藤一幸 (東工大)

クラウド II (17:00~18:30)

CPSY-13. 資源プール化アーキテクチャ向け IaaS 運用管理機能の試作と評価 河合 励 (富士通研)

CPSY-14. 分散ストレージを対象としたディスク接続切替による高速なデータ復旧手法 ○小西洋太郎・小野貴継・三吉貴史 (富士通研)

CPSY-15. ネットワークルータにて取得したコンテンツに基づくサイト横断型リコメンデーションサービスの提案 ○増田和紀・西 宏章 (慶大)

3日午前 システムのディペンダビリティ (9:00~10:30)

DC-1. 通信オーバーラップを考慮したアプリケーションレベルチェックポイントフレームワーク 實本英之 (東大)

DC-2. 構造化 P2P ネットワーク Chord のオブジェクト探索プロトコルにおける耐故障性 ○遠藤知輝・小澤一平・新井雅之・福本 聡 (首都大東京)

DC-3. 保証ケースを用いた統合運用管理ツールのディペンダビリティ調査 ○養安元気・若森拓馬・中田晋平・菅谷みどり・倉光君郎 (横浜国大)

センターのディペンダビリティ (10:45~11:45)

DC-4. [招待講演] クラウドセンターのディペンダビリティと省電力化 横田治夫 (東工大)

☆CPSY 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月12日(金) 広島大 [8月17日(金)] テーマ: クラウド, ネットワーク及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

安里 彰 (富士通)
TEL [044] 754-3233, FAX [044] 754-3214
E-mail: asato@jp.fujitsu.com

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月29日(月) 機械振興会館 [8月13日(月)] テーマ: ネットワーク環境でのディペンダビリティ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)
E-mail: t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学
幹事 杵渕哲也・山元規靖 幹事補佐 茂木 学

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂幸浩

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治
幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 8月27日(月) 13:30~18:10
28日(火) 9:00~16:50

会場 山口大学理工学部吉田キャンパス (山口市吉田 1677-1.
JR 湯田温泉駅下車. <http://www.ieice.org/iss/emm/workshop/EMM2012-02.php> 川村正樹)

議題 マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP
放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

27日

LOIS-1. 多種料理の調理手順最適化アルゴリズムの拡張
○松島由紀子・船曳信生・中西 透・渡邊 寛 (岡山大)

LOIS-2. 関節リウマチ患者における日常生活情報の収集に関する検討
○伊藤達明・武田十季・藪内 勉・浦 哲也・篠原章夫・定方 徹 (NTT)・西口 周・山田 実・青山朋樹・岡本和也・吉富啓之・布留守敏・伊藤 宣 (京大)・小林 稔 (NTT)

LOIS-3. 人感センサネットワークを用いたスマートビル—焦電型赤外線センサによる人物通過判定に関する一検討—

○秦 淑彦 (広島工大)・正木英行 (三菱電機システムサービス)・木藤太貴 (呉電子計算センター)・伊藤太一 (山口視聴覚機器)

LOIS-4. 実世界データ流通におけるプライバシー保護統計処理技術の実装評価 ○石井 淳・前大道浩之・依田育生 (NTT)

- EMM-5. 埋め込み画像参照型電子透かしについて
○平野貴之・松藤信哉・松元隆博 (山口大)
- EMM-6. 2次元相補系列を用いた電子透かしの回転攻撃耐性
○貞末克也・松元隆博 (山口大)・鳥井秀幸 (神奈川工科大)・小嶋徹也 (東京高専)・松藤信哉 (山口大)
- EMM-7. 電子透かしに対するインバージョンアタックの考察と丸め演算による対策
○大関和夫・魏 遠玉・倉木真生・平川 豊 (芝浦工大)・佐藤清次 (産技短大)
- EMM-8. A video watermarking method to objects robust against various attacks
○Ta Minh Thanh・Koichi Shinoda (Tokyo Inst. of Tech.)
- EMM-9. [招待講演] 徳田 功 (立命館大)
28日午前
- EMM-1. 非線形信号処理による画像の超解像化—ナイキスト周波数を越える高精細化—
○合志清一 (工学院大)・越前 功 (NII)
- EMM-2. 限定色画像に対する多ビット情報埋込法の画質改善
○小澤 慶・今泉祥子・青木直和・小林裕幸 (千葉大)
- EMM-3. A Use of Magnitude-Only Images for Privacy and Content-Aware Image Trading System
○Shenchuan Liu・Masaaki Fujiyoshi・Hitoshi Kiya (Tokyo Metropolitan Univ.)
- EMM-4. SNS 画像投稿時に発生するプライバシー侵害の要因分析
高田さとみ・○小山貴之・町田史門・宋 洋・嶋田 茂 (産技大)
- EMM-5. 読者の印象の色彩化による表紙画像生成の評価
○梶山朋子 (青学大)・越前 功 (NII)
- IE-6. SSR フィルタを用いた目検出及び瞬き検出
○岩上純生・齊藤剛史 (九工大)
- IE-7. 距離画像を用いたリアルタイム指文字認識
○井上 快・齊藤剛史 (九工大)
- IE-8. 葉画像を用いた樹木の認識
○岩田聡大・齊藤剛史 (九工大)
- IE-9. 複数オブジェクトの追跡と分離に基づく屋外大空間における自由視点映像生成
○山田健太郎・三功浩嗣・内藤 整 (KDDI 研)
- IE-10. 望遠鏡写真の像座標からの対象の視準方向の評価—画像トータルステーションでの自動かつ連続観測に向けて—
○片桐重和・服部 進 (福山大)・大西芳幸 (扶桑理科)
- IE-11. 多重解像度分解を用いた自由視点画像合成法
○中嶋俊介・久保田 彰 (中大)
12. 高精細板書型講義動画に関する配信効率化方式
○山口真之介・大西淑雅・西野和典 (九工大)・湯川高志・福村好美 (長岡技科大)・妙中雄三 (東大)
13. 隣接ノード情報に基づく効率的フラッディングに関する一検討
○今泉直哉・宇津圭祐・佐野浩士・石井啓之 (東海大)
14. H. 264/AVC マルチチャンネル映像エンコーダ装置におけるチャンネル間符号量制御機能について
○佐野 卓・横張和也・新田高庸・池田充郎・上倉一人・清水 淳 (NTT)
15. 異種センサ統合によるシームレスな位置検出
○小西勇介・大綱亮磨 (NEC)
- ◆電気学会；通信研究会，映像情報メディア学会；メディア工学研究会連催
○27日招待講演の後，懇親会を予定していますので是非御参加下さい。
☆LOIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

第一種研究会開催案内

11月21日(水)，22日(木) 静岡市産学交流センター〔9月14日(金)〕テーマ：情報セキュリティ，ライフログ活用技術，ライフインテリジェンス，オフィス情報システム，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)
〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1
FAX [092] 606-0758
E-mail : nori@fit.ac.jp

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月 岩手県民情報交流センター (アイーナ) [未定] テーマ：システム LSI の応用と要素技術，プロセッサ，DSP，画像処理技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

内藤 整 (KDDI 研)
E-mail : ie-kanji2011@mail.ieice.org

☆EMM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月4日(木) 幕張メッセ [未定] テーマ：マルチメディアのプライバシー保護最前線
11月 大分 [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

新見道治 (九工大)
TEL & FAX [0948] 29-7724
E-mail : niimi@mip.ces.kyutech.ac.jp

— 四国支部における開催 —

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎
幹事 吉村直子・廣瀬貴史

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一
幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス
幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

○本研究会は SAT 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月30日(木) 9:15~18:30
31日(金) 9:15~16:30

会場 高知市文化プラザかるぼーと (高知市九反田 2-1, 高知龍馬空港より空港連絡バスで 30 分, はりまや橋観光バスターミナル下車徒歩 1 分。 <http://www.bunkaplaza.or.jp/access/index.html>)

議題 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

30日午前 RCS1 (大講義室)

RCS-1. ピコ局混在型 HetNet における送信電力低減型時分割干渉制御技術の有効性に関する検討
○伏木 雅・宮崎功旭・王 曉秋・秋元陽介・小西 聡 (KDDI 研)

RCS-2. LTE-Advanced 向け動的送信ポイント切替のための複数チャンネル品質報告及びチャンネル推定誤差の影響を考慮したスケジューリング方法 ○星野正幸・湯田泰明 (パソニック)・高田智史 (PMCRD)・西尾昭彦 (パソニック)

RCS-3. LTE-Advanced における信号送信停止を併用する動的送信ポイント切替のためのチャンネル品質報告方法及びリソース割当方法の検討 ○星野正幸・湯田泰明 (パソニック)・高田智史 (PMCRD)・西尾昭彦 (パソニック)

RCS2 (大講義室)

RCS-4. 屋内伝搬環境におけるアンテナ構成を考慮した LTE-Advanced 上りリンク閉ループ型 2-by-2 SU-MIMO のスループット特性評価 ○安川真平・川村輝雄・岸山祥久 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・安藤英浩 (NTT ドコモ)

RCS-5. Conceptual Views and Radio Access Technologies for Future Evolution of LTE-A ○Anass Benjebbour・Yoshihisa Kishiyama (NTT DOCOMO)・Hiroyuki Ishii (DOCOMO Innovations)・Takehiro Nakamura (NTT DOCOMO)

RCS-6. 周波数共用システムにおける非線形歪雑音電力の適応制御手法 ○岡本誠一郎・富里 繁 (岡山大)・藤井啓正 (NTT ドコモ)・秦 正治 (岡山大)・三浦俊二・加山英俊 (NTT ドコモ)

30 日午後 RCS3 (大講義室)

RCS-7. XOR 符号化パリティ圧縮を用いた高符号化率ターボ符号に関する一検討 ○北村康裕・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

RCS-8. 電波環境のトータルレコーディングとその応用 ○唐沢好男・中田克弘・ボンマサック パーワンナー (電通大)

特集セッション (大講義室)

共通-9. [依頼講演] 衛星通信における多偏波空間多重伝送技術の提案 ○夜船誠致・ウェバー ジュリアン・矢野一人・伴 弘司・小林 聖 (ATR)

共通-10. [依頼講演] スペクトラム分割/圧縮伝送におけるソフトウェアを用いた自己スペクトラム再生処理の特性改善 ○増野 淳・阿部順一・杉山隆利 (NTT)

共通-11. [依頼講演] マルチチャンネル信号向けのピーク電力抑圧技術 ○長谷川文大・東中雅嗣・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

共通-12. [依頼講演] 災害対策のための地上/衛星共用携帯電話システムの研究開発について 藤野義之 (NICT)

特別講演/招待講演 (大講義室)

共通-13. [特別講演] 準天頂衛星初号機“みちびき”による民間利用実証の推進状況 松岡 繁 (SPAC)

共通-14. [招待講演] ワイヤレスネットワークにおける周波数利用の展望 梅比良正弘 (茨城大)

特別講演 (大講義室)

共通-15. [特別講演] 静止軌道における通信衛星システムの現状と展望 ○篠塚重隆・茶園英史・青山 暁・齊藤圭佑 (スカパーJSAT)

共通-16. [特別講演] NICT におけるこれからの衛星通信の在り方に関するワーキンググループの活動について ○秋岡真樹・豊嶋守生・これからの衛星通信の在り方に関するワーキンググループ (NICT)

31 日午前 RCS4 (大講義室) (9:15~10:05)

RCS-1. STBC-OFDM を用いる連携ダイバーシチ

○熊谷慎也・長岡 諒・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS-2. 送信/受信 FDE を用いる OFDM-STBC のビット誤り率の理論解析 ○長岡 諒・熊谷慎也・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS5 (大講義室) (10:15~11:30)

RCS-3. Performance of High Rate Submatrix Space-Time Codes ○Tatsumi Konishi・Masaru Ito・Masayuki Kagiya・Masakazu Mori (Aichi Inst. of Tech.)

RCS-4. DFT-Precoded OFDMA におけるターボ周波数領域等化及び繰り返し判定帰還チャンネル推定を用いたときの 4 アンテナの開ループ型送信ダイバーシチの特性比較

トウ煉軍 (東京都市大)・川村輝雄 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・○佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-5. DFT-Precoded OFDMA における LDPC 符号を用いたときの繰り返し判定帰還チャンネル推定のブロック誤り率特性 ○田中良和 (東京都市大)・三木信彦・川村輝雄 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

SAT1 (第3学習室) (10:15~11:30)

SAT-6. 次世代衛星センサネットワークにおけるデータのリアルタイム性を考慮した帯域割り当て方法に関する一考察

○川本雄一・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

SAT-7. 光衛星通信におけるインターリーブのブロックを基準としたマルチレート LDGM 符号化伝送に関する一検討

○京 拓磨・岡本英二 (名工大)・荘司洋三・高山佳久・豊嶋守生 (NICT)

SAT-8. 遅延許容ネットワークにおける効率的なルーティングに関する一考察 ○高橋朝人・西山大樹・加藤 寧 (東北大)・中平勝也・杉山隆利 (NTT)

31 日午後 RCS6 (特別学習室) (13:00~14:40)

RCS-9. アナログネットワーク符号化を用いるシングルキャリア HARQ 双方向中継通信のための送受信協調 MMSE-FDE に関する一検討 ○宮崎寛之・小原辰徳・安達文幸 (東北大)

RCS-10. 無線 BAN のための Decomposable Codes を用いた Hybrid ARQ 方式 ○高林健人・河野隆二・杉本千佳 (横浜国大)

RCS-11. マルチホップ通信における符号化・拡散を用いた誤り制御法 ○佐伯恵理子・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)

RCS-12. 改良型 VOTE-rule に基づく協調センシングにおける協調端末選択法 ○杉本祐亮・杉本千佳・河野隆二 (横浜国大)

SAT2 (第3学習室) (13:00~14:40)

SAT-13. 並走衛星取得データの符号化による情報削減 河東晴子 (三菱電機)

SAT-14. バックファイア一次放射器を用いた衛星通信用小型反射鏡アンテナ ○山本伸一・縫村修次・水野友宏・稲沢良夫・佐藤裕之・土谷牧夫 (三菱電機)

SAT-15. 海洋観測・開発における衛星通信利用の現状と展望 ○浅川賢一・吉田 弘 (海洋研究開発機構)

SAT-16. 小型衛星を用いた準リアルタイム地球観測システムの検討 ○鈴木健治 (NICT)・若森弘二・加藤博憲・小元規重 (有人宇宙システム)

RCS7 (特別学習室) (14:50~16:30)

RCS-17. 無線 LAN システムにおけるユーザ間公平性を考慮した基地局連携受付制御・チャンネル選択のゲーム理論的解析 ○花田光平・山本高至 (京大)・石原浩一・

工藤理一 (NTT)・守倉正博 (京大)

RCS-18. ランダム AIFSN 制御を用いた IEEE 802.11ah 準拠 M2M ネットワークのスループット特性改善

○小川浩平・三軒谷勇貴・守倉正博・山本高至 (京大)・杉原智行 (アライドテレビス)

RCS-19. RoF を適用した無線 LAN システムにおけるスループット特性改善法

○岡元佑正・三村智彦・守倉正博・山本高至 (京大)・大槻暢朗・杉山隆利 (NTT)

RCS-20. ホワイトスペース利用無線 LAN システムにおける帯域可変型マルチチャネルシステム

○水谷圭一・船田龍平・藍 洲・原田博司 (NICT)

SAT3 (第3学習室) (14:50~16:05)

SAT-21. WINDS 再生交換中継方式に適した TCP ウィンドウサイズ制御方法に関する一検討

○片山典彦・浅井敏男・川崎和義・高橋 卓 (NICT)

SAT-22. 衛星中継器帯域と衛星送信電力の有効利用のためのスペクトラム制御衛星回線割当アルゴリズム

○中平勝也・阿部順一・増野 淳・杉山隆利 (NTT)

SAT-23. サンプリングレート変換における補間精度改善法

○井浦裕貴・富塚浩志・岡崎彰浩・石津文雄 (三菱電機)

◎30 日の講演終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。

☆SAT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 韓国 [未定] テーマ: 衛星通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

SAT 研究会幹事

E-mail: sat_ac-sec@mail.ieice.org

吉村直子 (NICT)

TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

廣瀬貴史 (NTT)

TEL [046] 859-4210, FAX [046] 855-1752

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 17 日 (水)~19 日 (金) 福岡大 [8 月 10 日 (金)] テーマ: 無線分散ネットワーク, 一般

11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 東京電機大東京千住キャンパス [9 月 10 日 (月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

樋口健一 (東京理科大)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

—— 海外における開催 ——

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 8 月 27 日 (月) 10:40~17:20

28 日 (火) 10:00~16:20

会場 釜慶大学大淵キャンパス (599-1, Daeyeon 3-Dong, Nam-Gu, Busan, Korea. http://www.pknu.ac.kr/jsp_eng/intro_h_

01.jsp 金 茂俊)

議題 一般, 水中音響

27 日午前

1. Focal range control of focused ultrasonic field by curvature changing of transducer

○Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)・Moojoon Kim・Kanglyeol Ha (Pukyong National Univ.)

2. Dependence of ultrasonic frequency on glass scribing

○Chanshin Kang・Seho Kwon・Hojin Park・Younghan Kim (Korea Sci. Acad. of KAIST)・Jung-Hoon Moon (Suwon Sci, College)・Shin Wook Kim (MJ Tech)

3. Sonoluminescence and bubble dynamics in viscous liquids

○Pak-Kon Choi・Takaaki Yamada・Yuuta Takeuchi (Meiji Univ.)

4. Characteristics of Machining time of Brittle Material

○Takuya Asami・Hikaru Miura (Nihon Univ.)

5. Airborne Ultrasound CW-and Pulsed-Doppler Systems for Biomedical Moving Target Study

Yasuhito Takeuchi

6. Determination Method of Acoustical Physical Constants and Their Temperature Coefficients of $\text{La}_3\text{Ta}_{0.5}\text{Ga}_{5.3}\text{Al}_{0.2}\text{O}_{14}$ Single Crystal

○Yuji Ohashi (Tohoku Univ.)・Tomoaki Karaki (Toyama Pref. Univ.)・Hitoshi Yoshida (Tohoku Univ.)・Tao Lv (Toyama Pref. Univ.)

Mototaka Arakawa (Tohoku Univ.)・Masatoshi Adachi (Toyama Pref. Univ.)・Jun-ichi Kushibiki (Tohoku Univ.)

7. 3D-Simulation for temperature rise in tissue mimicking phantom with bone

○Nobuyuki Endoh・Takenobu Tsuchiya・Yu Sakuma・Shin Tanaka (Kanagawa Univ.)

8. The influence of bonding layer on the characteristic of piezoelectric polymer transducer

○Yonggang Cao・Moojoon Kim・Kang-Lyeol Ha (Pukyong National Univ.)・Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)

9. Growth of ZnO Nanostructured Materials using Cylindrical Piezoelectric Vibrator

○Choonghwa Lee・Moojoon Kim・Kang-Lyeol Ha (Pukyong National Univ.)・Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)

10. [招待講演] Estimation of stability of acoustic reciprocal transmission in deep and coastal waters

Hiroyuki Hachiya (Tokyo Inst. of Tech.)

11. Consideration about acoustic measuring method of bended steel pile under the ground in the earthquake

Sayuri Matsumoto・Toshinari Tanaka・Taketsugu Hirabayashi・○Muneo Yoshie・Kageyoshi Katakura・Yoshiaki Kikuchi・Hideki Takahashi (Port and Airport Research Inst.)

12. Development of 4-D underwater acoustic imaging system

○Sayuri Matsumoto・Kageyoshi Katakura・Mitsuhiko Nanri・Norihide Takeyama・Takenobu Tsuchiya・Nobuyuki Endoh・Takatoshi Noguchi (Port and Airport Research Inst.)

13. Development of Non-contact Thickness Gauging Equipment for Underwater Steel Structure

Kazuhiro Shirai (Port and Airport Research Inst.)

28 日午前

1. Performance of Orthogonal Frequency Division Multiplexing in Highly Reverberant Water Tank ○Woo Yang · Chulwon Seo · Jihyun Park · Kyu-Chil Park · Jong Rak Yoon (Dept. of Information and Communication Engr.)
2. Measure of Effectiveness Analysis for Tracking based on Detection in SONAR system ○Jung-Hong Cho · Jea Soo Kim (Korea Maritime Univ.) · Seongil Kim (Agency for Defense Develop.)
3. Optimization of 1-3 Piezocomposite Material Structures for Underwater Acoustic Transducers ○Jinwook Kim · Seonghun Pyo · Yongrae Roh (Kyungpook National Univ.)
4. Bearing Error Estimation of in Inhomogeneous Ocean Applying the Three-Dimensional BELLHOP Propagation Model ○Michael Porter · Jungsoo Park · Jooyoung Han (HLS Research) · Young-Nam Na (Agency for Defense Develop.)
5. A method of calculating time-varying characteristics based on sparse channel estimation for underwater acoustic communications ○Hyeonsu Kim · Jongpil Seo · Gunwoo Park (Inha Univ.) · Seongil Kim (Agency for defense depart.) · Jaehak Chung (Inha Univ.)
6. [招待講演] Ultrasonic 2D Matrix Array Transducer for Volumetric Imaging in Real Time Yongrae Roh (Kyungpook National Univ.) Jongkil Lee (Andong National Univ.)
8. Fiber-Optic Ultrasonic Hydrophone Using Short Fabry-Perot Cavity with Multilayer Reflectors ○Kyung-Su Kim · Yosuke Mizuno · Kentaro Nakamura (Tokyo Inst. of Tech.)
9. Hollow cylindrical titanium pipe cavitation sensor using hydrothermal synthesized lead zirconate titanate poly-crystalline film as piezoelectric element ○Shinichi Takeuchi · Michihisa Shiiba · Yuki Uemura (Toin Univ. of Yokohama) ·

Takeyoshi Uchida · Tsuneo Kikuchi (AIST) ·

Minoru Kurosawa (Tokyo Inst. of Tech.)

10. Target strength pattern measurement of juvenile chum salmon (*Oncorhynchus keta*) in a tank by the controlled method ○Kouichi Sawada · Tomohiko Matsuura · Hideaki Aono · Akihiko Hashiba (FRA)
11. Simulation of Source Localization using Time Reversal Mirror in Shallow Water ○Bok Kyoung Choi · Byoung-Nam Kim · Seong Hyeon Kim · Bong-Chae Kim (Korea Inst. of Ocean Sci. and Tech.)
12. SVM based Classification Algorithm for Transient Signals under Ocean Background Noise ○Juho Kim · Tae-Hoon Bok · Jinho Bae · Dong-Guk Paeng · Chong Hyun Lee (Jeju National Univ.) · Seongil Kim (Agency for Defense Develop.)
13. ROK-US Joint Acoustic Experiment at the East China Sea ○Seongil Kim (Agency for Defense Develop.)

◆日本音響学会；超音波研究委員会，海洋音響学会，韓国音響学会嶺南支部，釜慶大学音響振動工学研究所，韓国音響学会，IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月24日(月) 秋田大〔締切済〕テーマ：一般

10月22日(月)，23日(火) 金沢工大〔8月16日(木)〕
テーマ：一般

11月29日(木) 静岡大〔9月14日(金)〕テーマ：非線形音響，一般(共催：非線形音響研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

美谷周二朗(東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ

第1回 情報ネットワーク科学 (NetSci) ワークショップ

委員長 村田正幸 (阪大)

副委員長 会田雅樹 (首都大東京)・中村 元 (KDDI)

第1回 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) ワークショップ

委員長 岡本英二 (名工大)

副委員長 田中久陽 (電通大)・長谷川幹雄 (東京理科大)

開催趣旨

情報ネットワーク技術は私たちの生活や社会を支える最重要技術の一つとして目覚ましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報ネットワーク技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになってきました。このような問題意識を共有する通信サイエティ「情報ネットワーク科学時限研究専門委員会 (NetSci)」と基礎・境界サイエティ非線形理論とその応用サブサイエティ (NOLTA)「複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS)」が横断的で学際的な議論の場を持つべく合同でワークショップを開催致します。御参加を御検討頂けましたら幸いです。

期日 平成24年8月9日 (木)、10日 (金)

会場 北海道大学

基調講演

「新世代ネットワークと情報ネットワーク科学」

村田正幸 (阪大)

「複雑系数理モデル学の工学応用研究について」

堀尾喜彦 (東京電機大)

招待講演

「新世代ネットワーク及び将来インターネットに関する国内外の研究プロジェクトに関する状況について」 西永 望 (NICT)

◎参加申込は、下記のホームページから行って下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/>

その他、プログラムなど詳細な情報は、投稿先の研究会のホームページに掲載致しておりますので御参照下さい。

NetSci : <http://www.ieice.org/~netsci/>

CCS : <http://synchro4.ee.uec.ac.jp/~CCS/>

◎科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトワークショップ併催

【問合せ先】

NetSci : 巳波弘佳 (関西学院大)・成瀬 誠 (NICT)・

久保 健 (KDDI 研)・井上 武 (JST ERATO)

E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org

CCS : 長谷川幹雄 (東京理科大)・中尾裕也 (東工大)・

青野真士 (理研)・関屋大雄 (千葉大)・鳥飼弘幸 (阪大)

E-mail : hasegawa@ee.kagu.tus.ac.jp

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会、複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

●短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 原田博司・加藤正文

日時 平成24年8月20日 (月) 10:20~17:15

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス (江東区豊洲3-7-5. http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_toyosu.html TEL [03] 5859-8252 久保田周治)

議題 WPAN, センサ関連技術, 一般

1. [招待講演] 日本のホワイトスペース通信に係る法規制に関する検討状況 原田博司 (NICT)

2. [招待講演] IEEE 802.11af 標準化の概要 Zhou Lan (NICT) 午後

3. 低速 BPSK 変調方式による高精度ミリ波レーダ方式の提案
○佐藤雄一・沢田浩和・加藤修三 (東北大)

4. アクティブ・タグを用いた歩行誘導システムの検討
○工藤一馬・久保田周治 (芝浦工大)

5. 耐隣接チャネル干渉 OFDM 伝送方式の検討
○王 飛・久保田周治 (芝浦工大)

6. センサネットワーク用送信センサ選択型協調ビーム形成法の一検討
○平井大暁・富里 繁・田野 哲・秦 正治 (岡山大)

7. 同一チャネル干渉下における周波数オフセット推定法の特徴
○長谷部雅孝・田野 哲・富里 繁・秦 正治 (岡山大)

8. 平面スロットアレーアンテナを使用した120 GHz帯無線による10 Gbps データ伝送
○枚田明彦・竹内 淳・高橋宏行・久々津直哉 (NTT)・キム ドンジン・広川二郎 (東工大)

9. [パネルディスカッション] 短距離無線通信のセンサへの応用

司会 : 加藤修三 (東北大), 短距離無線に携わる方々をパネリストに招待し, 議論する

参加費 一般2,500円, 学生1,500円

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月15日 (月) NICT 本部 [8月20日 (月)] テーマ : WLAN 関連技術, 一般

12月10日 (月) 東京 [10月15日 (月)] テーマ : Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般

2月28日 (木) 早大 [12月10日 (月)] テーマ : WLAN, WPAN 関連, 一般

【発表申込・問合せ先】

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail : sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

◎最新情報は, SRW 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~srw/>

主催 短距離無線通信時限研究専門委員会

●第4回光通信インフラの飛躍的な高度化に関する研究会

委員長 鈴木正敏 (KDDI 研)

副委員長 淡路祥成 (NICT)・宮本 裕 (NTT)・

盛岡敏夫 (デンマーク工科大)

日時 平成24年8月30日 (木) 9:15~11:30

会場 サン・リフレ函館 (函館市大森町2-14. JR 函館駅から徒歩)

歩 15 分、函館バス「サン・リフレ函館前」停留所から徒歩 1 分。http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/ TEL [0138] 23-2556)

テーマ：空間分割多重伝送技術に関する国際動向報告と、我が国の取り組み状況

概要

光ファイバ通信の容量枯渇問題への切り札として、日本が世界に先駆けて提案・開拓してきた空間分割多重の新分野は、当研究会の活動開始より急激に参入機関が増加し、現在も国際会議などを席巻しています。このような背景を受けて、当研究会は本年度より装いを新たにし、これまでの取り組みに加えて、技術の海外展開及び国際協調を促進する役割を担うこととなりました。今回の研究会では、当委員会が直接的・間接的に関係する国際ワークショップなどの最新動向を御報告頂きます。また、このような国際展開を進める上で、関連分野の国内横断的な連携体制の強化も重要な課題であることから、産官学連携の取り組みについての最新の研究状況を御紹介頂きます。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

プログラム

[招待講演] IEEE Photonics Society 2012 Summer Topical Meetings 報告 (SDM 関連) 佐々木 隆・林 哲也 (住友電工)

[招待講演] COIN 2012/EXAT ワークショップ報告

廣岡俊彦 (東北大)・齊藤晋聖 (北大)・盛岡敏夫 (デンマーク工科大)

[招待講演] 革新的光通信インフラの研究開発プロジェクト

高良彦彦 (NTT)

[招待講演] マルチコアファイバ分布ラマン増幅用アレイ化励起光源

鈴木賢哉 (NTT)

[招待講演] 19 コアファイバーを用いた大容量空間多重伝送

坂口 淳・淡路祥成 (NICT)

参加資格：特に問いません。

参加費：一般 3,000 円 学生 無料

参加申込：当日会場にて受け付けます。

◎最新情報は、光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会 (EXAT 研究会) のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~exat/>

【問合せ先】 幹事

福知 清 (NEC)

TEL [044] 396-2816, FAX [044] 435-1096

E-mail: exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

●CQ サマースクール

「コミュニケーションクオリティ概論と OpenFlow 実習」

実行委員長 山崎達也 (NICT)

日時 平成 24 年 8 月 30 日 (木) 10:00~17:00

31 日 (金) 10:00~17:00

会場 国立情報学研究所 (千代田区一ツ橋 2-1-2, 学術総合センター 20 階 2004, 2005 室。http://www.nii.ac.jp/about/access/)

プログラム (仮)

30 日

1. [チュートリアル講演 1] ネットワーク QoS 計測並び障害検

知 長谷川 亨 (KDDI 研)

2. [チュートリアル講演 2] ネットワーク性能評価概論

大崎博之 (阪大)

3. [実習関連講演] OpenFlow 概説

下西英之 (NEC)

4. OpenFlow 実習

31 日

1. [チュートリアル講演 3] 無線ネットワークにおける通信品質と帯域利用効率の評価方法

平栗健史 (日本工大)

2. [チュートリアル講演 4] 主観品質評価法と実験計画

岡本 淳 (NTT)

3. グループ演習

4. 成果発表会

概要

ブロードバンド通信の普及に伴い、電話サービスや映像サービスなど多種多様な通信サービスがインターネット上で提供されるようになってきました。これらの次世代サービスを支える通信インフラには多種多様な通信品質 (CQ) の提供が求められます。また、東日本大震災を契機として、災害時や緊急時の通信サービスのあり方についても議論が始まっています。このように、新世代のネットワークにおいては、多様なサービスや状況に応じたテーラード型の品質制御技術が重要となります。

コミュニケーションクオリティ研究専門委員会では、次世代/新世代ネットワークにおけるサービス品質 (QoS), ユーザ体感品質 (QoE) の視点から、将来的に通信品質に関する研究をリードし得る国際的視野を持った研究者を育成することを目的とし、新たな試みとして、学生や若手研究者を対象とした CQ サマースクールを 2 日間にわたって開催します。

今回は、コミュニケーションクオリティ概論として、ネットワークの通信品質研究に携わる第一線の研究者による有線・無線ネットワークの計測、制御、評価に関わるチュートリアル講演を予定しています。また、世界的に注目されている OpenFlow 技術に焦点を当て、実習を通して OpenFlow に関わるネットワークプログラミングに関する基礎技術の習得を目指します。座学にとどまらず実習内容に関するグループワークや成果発表会を通して、活きた知識の獲得、産学・組織の壁を越えた人脈の形成が期待できます。

【参加申込】

参加対象者 学生 (修士課程以上を想定) 及び若手研究者

募集定員 30 名程度 (申込先着順)

締切日 8 月 10 日 (金)

参加費 無料

申込方法：下記 CQ サマースクールのホームページより参加登録を行って下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/cqssl/index.html>

【問合せ先】

中内清秀 (NICT)

E-mail: cq_ac-cqss-members@mail.ieice.org

主催 コミュニケーションクオリティ研究専門委員会

●第6回再生可能集積システム時限研究会

委員長 松本 智(慶大)

副委員長 上原 稔(東洋大)・中尾健彦(東芝)

21世紀になって人類の活動が地球環境に及ぼす影響が著しく増大し、環境変動が憂慮されています。このために、特に人類が製造した人工物に関し、その再生利用や再利用を促進する技術開発が強く期待されています。ユビキタス情報社会において、ほとんどの我々の身の回りの人工物に、集積システムが組み込まれています。したがって、これらのシステムの再生、再利用を図ることは、地球環境に優しいという面だけでなく、経済、政治などの面からも重要です。具体的な探求課題としては、直接的な再生、再利用の促進に関する技術開発に加え、ライフサイクル全体の省エネルギー化やコスト削減も重要な探求課題になります。このためには、アーキテクチャの根本的な改革、耐久性の低下した部品において、安心、安全な運用を確保するフォールトトレランス、セキュリティ技術の研究、製造から再生に至るライフサイクルのビジネスモデルの探求などが重要です。このように、本研究では、従来型とは大きく異なった開放的な分野による総合的なアプローチが必要です。

本時限研究専門委員会は、こうした問題意識を持ちながら、リコンフィギュラブル技術、アーキテクチャ技術、ソフトウェア工学、設計技術、システム技術、再生ビジネスモデルなどの分野の研究者の自由な交流を促進し、集積システムの再生、再利用による環境に優しいIT技術の研究に関して、研究発表及び討論を行う機会を提供します。本研究会は定期的に研究会を開催することにより、関連する研究者に広く技術交換の機会を提供し、産業界と大学等の研究機関の交流の機会を増やすことにより、関連する技術の発展を図っていくことを目的とします。

今回の第6回再生可能集積システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

日時 平成24年10月13日(土) 13:00~18:00

会場 山形大学工学部米沢キャンパス4号館セミナー室

一般講演申込締切 8月17日(金)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記申込先までお申し込み下さい。

【申込先】

上原 稔(東洋大)

E-mail : uehara@toyo.jp

【問合せ先】

多田十兵衛(山形大)

E-mail : jubee@yz.yamagata-u.ac.jp

◎RIS ホームページも御覧下さい。

<http://www.am.ics.keio.ac.jp/reconf/ris/>

主催 再生可能集積システム時限研究専門委員会

●第49回機能集積情報システム研究会

委員長 肥川宏臣(関西大)

本研究会は、ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委

員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコンウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS(Functional Integrated Information System)の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールトトレラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築(SOC: System On Chip)技術としては、IC内部の欠陥検出法(テスト手法やBIST: Build In Self Test)や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム(FIIS)研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであるととらえています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第49回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成24年10月19日(金)

会場 東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)

一般申込締切 8月13日(月)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合せ先】

金子晴彦(東工大大学院情報理工学研究所)

E-mail : hkaneko@fuji.cs.titech.ac.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第17回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 水野 修(工学院大)

委員会の内容

本時限研究専門委員会は、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成24年10月25日(木)、26日(金)

会場 国民宿舎小豆島ふるさと荘交流センター

テーマ: ネットワークの振る舞いを定義するためのソフトウェア技術+一般

概要

OpenFlow等のネットワーク仮想化技術が進展しSDN(Software Defined Network)を実現する製品も登場している。仮想化技術は適用分野によって様々な方式が考えられるが、従来、個々のルータに配置されていた様々な機能を集中制御することによって、従来よりも容易にネットワークの経路制御、アクセス制御、QoS制御、セキュリティ制御等が実現できる。また、ネッ

トワーク構成を意識せずにアプリケーションが作成可能となることで、従来にない新たな発想によるサービスの創出も期待される。本研究会では以下に例を示すテーマで研究発表を募り、今後のネットワーク仮想化技術の方向性について幅広く議論を行う。

- ・データセンタネットワーク等へのネットワーク仮想化技術の適用事例の報告
- ・SDNの運用方法やSDNを利用した新たなサービス生成方法に関する提案
- ・トンネル技術やマルチテナンシー等、ネットワーク仮想化のための要素技術に関する提案
- ・既存のネットワークからの移行方法に関する提案
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

発表形式：下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向へ

1件当たり約50分（質疑含む）という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向へ1件当たり約5～10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【一般講演の申込と原稿提出】

- ・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号）、講演者の方の参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も合わせて御確認下さい。

締切（一般講演申込）：9月20日（木）

- ・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、Power Pointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きましますので、あらかじめ御了承下さい。

締切（一般講演原稿提出）：10月11日（木）

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

締切（ポジションペーパー申込・原稿提出）：10月11日（木）

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも

受け付けます。ただし、期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問合せ下さい。また、期日以降の申込みでは予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

【参加申込】氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号）、参加費種別（一般/学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

締切（参加申込）10月11日（木）

【参加費と参加費支払方法】

一般 9,000円 学生 3,000円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書もしくは領収書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先 みずほ銀行 三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会

口座番号：普通 4298770

締切（参加費振込）10月24日（水）

【講演・参加申込・原稿提出先】

西村豪生（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL [0422] 59-7339

E-mail : nws-kanji@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ】

別所寿一（NTT）

TEL [0422] 59-6921

主催 ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会

<http://www.ieice.org/~nws/>

●第10回 QoS ワークショップ

委員長 山崎達也（NICT） 副委員長 高橋 玲（NTT）

日時 平成24年11月2日（金）13:00～18:00（時間は暫定）

会場 東京工業大学大岡山キャンパス蔵前会館（目黒区大岡山2-12-1）

テーマ：ビッグデータ時代の情報通信サービスとクオリティ（仮）

趣旨

有線・無線ネットワークの高速化、広域化やスマートフォンの高機能化に伴い、ソーシャルメディアや広範囲に配置されたセンサから得られるデータをネットワークを通して収集することが可能になっています。更に、このような大量のデータの中から価値のある情報を選別して、私たちの身近にある多種・多様な情報通信サービスの品質を改善したり、新たな情報通信サービスを創出するといった要求が高まっています。この要求を満たし、より豊かなサービスを実現するには、データの収集・解析から選別された情報がサービスの品質に与える影響の分析まで、従来の情報通信の枠にとらわれない幅広い技術が重要となってきます。

コミュニケーションクオリティ研究専門委員会では、情報インフラ化したインターネット、高品質でセキュアな次世代ネットワーク、更なる先を見据えた新世代ネットワークにおいて、ユーザ・アプリケーションが要求する多様な品質を提供する方法を、従来の技術にとらわれず、かつ学術的・学際的な観点から議論す

ることを目的とし、2004年より9回のQoSワークショップを開催してきました。

本年度は、高速化、広域化が進むネットワークによって得られるデータと情報通信サービスの品質の関わりについて議論するため、第10回QoSワークショップを開催します。特に、広域センサネットワーク上で効率的にデータを収集するためのネットワーク技術、膨大なデータを解析するための機械学習技術、ソーシャルメディアがサービスに与える効果分析に関する手法などについて、第一線の研究者による実践的なチュートリアル講演を行います。

更に、若手研究者を対象にして、種々のサービス、システム、ネットワークにおけるQoS/QoEのあり方、QoS/QoEの評価、設計、制御、運用などの観点から幅広く深い議論を行うポスターセッションを開催します。一般及び学生を対象に広く募集しておりますので、奮って御投稿下さい。また、QoS/QoEに関する研究開発成果や製品レベルのデモンストレーション展示についても募集致します。

内容（予定）

1. [招待講演] 澤田 宏 (NTT)
2. [招待講演] 寺西裕一 (NICT)
3. [招待講演] 浜口斉周 (NHK)
4. ポスターセッション
5. デモンストレーション展示

【ポスター発表募集】

ブロードバンド・ビッグデータ時代の通信ネットワークと情報通信サービスの品質に関するポスター発表を募集します。QoS/QoEの評価、設計、制御、監視、運用と幅広いテーマで募集致します。これらに限ることはなく、学際領域の発表も歓迎します。ポスター発表者には予稿の提出をお願いします。予稿は日本語または英語で、フォーマットは電子情報通信学会総合大会のシンポジウム講演（A4用紙2頁）に準じます。また、投稿原稿はワークショップ予稿CD-ROMに収録されます。

【デモ展示募集】

ブロードバンド・ビッグデータ時代の通信ネットワークと情報通信サービスの品質に関するデモンストレーション展示を幅広く募集します。企業による製品レベルの展示も募集致します。

【申込方法・ポスター発表申込・デモ展示申込】

本ワークショップのホームページ http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/qos_workshop10/index.html を御覧の上、お申し込み下さい。

【参加費】（予定）

一般：6,000円 学生：1,000円

【問合せ先】

引地謙治（富士通研）、中村信之（OKI）

E-mail：cq_ac-qos-ws@mail.ieice.org

主催 コミュニケーションクオリティ研究専門委員会

●第2回安全・安心な生活のための情報通信システム研究会

委員長 岡田和則（NICT） 副委員長 田村 裕（中大）

昨年3月11日の東日本大震災以降、見直される被害想定、新たに発見される活断層、爆弾低気圧による暴風雨、大規模な被害をもたらす竜巻など、私たちの生活は、新たな脅威にもさらされています。このような大規模な自然災害だけではなく、交通事故、誘拐等児童への犯罪等の様々な脅威が、私たちの日常生活を

脅かしています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが果たすべき役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つシステムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。第2回研究会を下記の日程で開催致しますので、研究発表を募集致します。

対象分野：安全・安心な生活のための情報通信システムに関する以下の分野

- ・アドホックネットワーク構築技術
- ・輻輳制御技術
- ・高信頼無線アクセス技術
- ・コグニティブ無線技術
- ・広帯域無線伝送技術
- ・ネットワークシステム設計技術
- ・最適配置技術
- ・ITS技術
- ・センサネットワーク構築技術
- ・災害情報学
- ・災害時行動心理学
- ・危機管理情報学

上記に限らず、幅広い分野からの研究発表を募集致します。奮って御応募下さい。

発表を御希望される方は、論文題目、著者名、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

期日 平成24年11月15日（木）、16日（金）

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」（新潟市中央区笹口1-1 プラウカ1・2階、JR新潟駅南、<http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/>）

発表申込締切 9月7日（金）

【申込先・問合せ先】

中野敬介（新潟大）

TEL & FAX [025] 262-6751

E-mail：nakano@ie.niigata-u.ac.jp

川上 博（NTTドコモ）

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail：kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報を研究会 Web ページで掲載致しますので御参照下さい。 <http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

●第26回多値論理とその応用研究会

座長 荒木智行（広島工大）

目的

半導体微細化技術の飛躍的な進歩が情報処理・通信システムの目覚ましい性能向上の原動力になってきたが、近年、微細化によるLSI性能向上の限界が次第に現実化しつつあり、それを打破すべく、デバイス・回路からアーキテクチャに及ぶ広い領域で様々な試みが精力的に研究されている。

「0」と「1」だけでは表現できない世界を考察する多値論理の歴史は古く、論理設計に利用されてきたほか、LSIの高速化、小チップ面積化に有効な手法として研究が進められてきたが、テクノロジーの限界が近づきつつある今、それを打破する新たな可能性を秘めた有力な手法の一つとして、多値論理が注目を集めている。

る。例えば、冗長性を含む多値アルゴリズムは、特性変動が大きいデバイスを前提とするナノコンピューティングとの整合性が良く、革新的なナノアーキテクチャの実現につながる可能性がある。

本研究会は、多値論理研究会と共催で、論理学、数学、論理設計、フォールトトレラント、ファジィ、人工知能等の側面から、また、デバイス、回路技術の観点から、多値論理の基礎とその応用について最新の研究成果を発表するとともに、分野の壁を越えた様々な研究者の間で意見交換と討論を行うことを目的としています。

日時 平成25年1月12日(土)午後、13日(日)午前

会場 上智大学四谷キャンパス

応募の資格 特になし

申込み・原稿締切日

講演申込締切 10月12日(金)

原稿締切 11月30日(金)

【申込・原稿送付先】

永山 忍 (広島市大情報科学部情報工学科)

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1

TEL [082] 830-1599, FAX [082] 830-1568

E-mail: s_naga@hiroshima-cu.ac.jp

【会場担当幹事】

和保孝夫 (上智大理工学部情報理工学科)

TEL [03] 3238-3412, FAX [03] 3238-4156

E-mail: waho@ieee.org

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

共催 多値論理研究会 (<http://mvl.jpn.org/>)



複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体)と包括複製許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

● 2012年ソサイエティ大会開催案内 ●

本ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクスの3ソサイエティが合同で開催する大会です。奮って参加されま
すようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2012年9月11日(火)～14日(金)
会 場 富山大学(富山市)
(会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
交 通 富山地下市内線「大学前駅」から構内まで、徒歩5分。
または「富山大学前」バス停から構内まで、徒歩1分。

2012年ソサイエティ大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて(7月上旬)公開予定
です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記から
Web登録をお願い致します。(7月5日公開)

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに
継続購入の申込募集を行います。法人には法人用DVDを大会
終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>
8月13日(月)締切厳守(電話による予約は不可)
事前予約されますと、予約物を8月28日～8月30日までに請
求書を同封して発送致します。
また、9月3日(月)までに予約物が届いていない場合には必
ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります
(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め(DVD)>
大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラ
ムのDVD化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利
になります。聴講者におかれましても、是非このDVDの機能を
有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。
御予約頂きますと、8月28日～8月30日までに索引機能を充
実したDVD(全講演・プログラム)を発送致しますので、聴講
の下調べ等にお役立て下さい。
なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日
DVDを活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)
<聴講参加>(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)
☆2011年ソサイエティ大会から、学生の聴講参加費を値下げ致
しました。学生の皆様、奮って御参加下さい。
☆2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引
制度を実施致しております。事前申込みの割引制度を御利用頂
くと当日申込みより2割引の参加費で大会聴講が可能となりま
す。御利用の上、奮って御参加下さい。

[事前申込み(DVD含む)]

会 員 名誉員・正 員	8,000 円
学生員(DVD購入)**	2,400 円
60歳以上の会員***	2,400 円
非会員 社会人	16,000 円
学生(DVDなし)	2,400 円
学生(DVD購入)	4,800 円

[当日申込み(DVD含む)]

会 員 名誉員・正 員	10,000 円
学生員(DVDなし)*	無料
学生員(DVD購入)**	3,000 円
60歳以上の会員***	3,000 円
非会員 社会人	20,000 円
学生(DVDなし)	3,000 円
学生(DVD購入)	6,000 円

※凡 例
* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますの
で事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂
ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きます
ので御持参下さい。)
** 会場で会員証を提示して下さい。
***年金以外の収入がない方が対象となります。

[法人価格申込み]
1. DVD1枚(合本付) 75,000 円
2. DVD1枚 60,000 円
☆この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。
☆電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の
会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いと
なります。

<冊子講演論文集>
論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下
さい。冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成して
おりますので、予約期限を過ぎますとお求めになれない場合に
ありますので、くれぐれも御注意下さい。
(発行日：平成24年8月28日/価格は消費税込み)
各分冊講演論文集の内容・価格については、上記ホームページを
御覧下さい(7月5日公開)。

<支払方法>
予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致し
ますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求
書に記載)。
申込みの問合せ先
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
電子情報通信学会 大会担当
TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
E-mail: taikai@ieice.org
発送・請求の問合せ先 E-mail: tk-tyoko@ieice.org

今回のソサイエティ大会では男女共同参画委員会の活動の一環
として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記URLに
案内を掲示しますので御利用下さい。
(http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html) (8月上旬を予定)

FIT(情報科学フォーラム)2012の開催案内は下記を御覧下さい。
<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/index.html>

FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム 聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集販売の御案内

FIT2012Web サイト：<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーションングループ）と情報処理学会とは 2002 年から合同で毎年秋季に FIT（Forum on Information Technology）を開催しており、2012 年 9 月には第 11 回目を法政大学で開催致します。皆様、奮って御参加下さい。

会 期：2012 年 9 月 4 日（火）～6 日（木）
会 場：法政大学小金井キャンパス（小金井市梶野町 3-7-2）
交 通：JR 中央線新宿駅から快速で 21 分、東小金井駅下車
東小金井駅から徒歩約 15 分、若しくは「武蔵小金井駅行」バス約 5 分、「法政大学」下車
※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。

協 賛：法政大学
後 援：小金井市/小金井市教育委員会

■開催イベント企画【予定】

今回の FIT では以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。（詳細は逐次 FIT2012 Web サイトに掲載致します）

◎船井業績賞受賞記念講演

5 日 14:00-15:15 第 1 イベント会場（東館 2F 講堂（体育館））
「サイバーアシストからスマートシティへ：IT による社会のデザイン」
中島秀之（公立はこだて未来大学学長）

◎FIT 学術賞表彰式

5 日 13:00-13:50 第 1 イベント会場（東館 2F 講堂（体育館））

◎イベント企画

第 2 イベント会場（西館 B1F マルチメディアホール）
4 日 9:30-12:00 スマートフォン実世界センシング×コンピューティング
13:00-15:00 e-サイエンス：超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術
15:30-17:30 ビジネスで生きる機械学習技術
5 日 9:30-12:00 HTML5 時代におけるサイバーワールドのインテグレーション
15:30-17:30 高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」
6 日 9:40-12:00 データ活用型科学の将来展望
13:00-16:00 スパース信号処理の最前線
第 3 イベント会場（東館 1F E105）
4 日 13:00-16:00 第 16 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
5 日 9:30-12:00 生体・感覚情報計測技術の基礎
15:30-17:30 情報学研究における質的アプローチの可能性を探る
6 日 9:30-12:00 世界初、統一の評価基準に基づく電子透かしコンテスト一昨今の電子透かし技術の実力や如何に！
13:00-15:00 安心なスマートフォンの未来を考える一スマートフォン/タブレットの威力とセキュリティ対策について

■聴講参加費（税込）

参加区分	参加費
正 員	10,000 円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
非会員	20,000 円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
学 生	無料（プログラム・参加章）

※正員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

正 員：電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK, KICS, KIISE, IEEE/Com. Soc., IEEE/PHO, IEEE/MTT-S, IEEE/CS）または情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI）の個人会員に限ります。

非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROM は付きません）。
社会人学生の方も、学生証を総合受付で提示頂ければ無料です。

■懇親会【予定】

開催日時：9 月 5 日（水）17:45～19:30

会 場：東館 B1F 生協食堂

参加費（税込）：社会人 5,000 円、学生 2,000 円

■冊子講演論文集・DVD-ROM 販売価格（税込）

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000 円	57,000 円
講演論文集分冊	12,000 円	15,000 円
講演論文集 DVD-ROM	8,000 円	55,000 円

※会場販売は残部のある限りとなりますので、あらかじめ御了承下さい

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊（カバー付き）、DVD-ROM

※分冊は第 1～4 分冊の予定

※DVD-ROM はプログラム（講演者索引付き）及び全講演論文集収録

※学生の方は、会場にて DVD-ROM 学割会場販売価格 4,000 円

■講演論文集の掲載分野（予定分冊構成）

第 1 分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第 2 分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第 3 分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第 4 分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録
（著者、所属、キーワードによる索引付き）

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■問合せ（FIT2012 幹事学会）

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
一般社団法人電子情報通信学会大会・研究会部 FIT 担当
TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
E-mail : ieicefit@ieice.org

■次年度の FIT2013 開催

2013 年 9 月 鳥取大学にて開催予定

—平成 24 年度電気・情報関連学会
北海道支部連合大会—

期 日 平成 24 年 10 月 20 日（土）、21 日（日）
会 場 北海道大学大学院情報科学研究科（札幌市北区北 14 条西 9）

特別講演 日時：平成 24 年 10 月 20 日（土） 16：00～17：00
会場：北海道大学大学院情報科学研究科棟 A-21
演題：飛躍する光—進化する光ファイバはいつまでも
人と人をつなぐために—
講師：小柴正則（北大）

一般講演

講演形式 口頭発表，詳細は大会 HP（下記問合先 URL）を参照
願います。

講演者 主催学会の会員に限るが，共著者に会員が含まれている
場合には非会員の講演も認める。なお，当支部所属に限
らない。

講演内容 電気及び情報に関連する最近行った研究及び調査の報
告，新しい企画及び工事等の報告，新製品の紹介等。

講演予稿 図表を含めて A4 サイズ 1 ページ（A 形式）または 2
ページ（B 形式）。予稿作成用の LaTeX スタイル
ファイル及び Word のテンプレートファイルが下記の
HP よりダウンロード可能。講演者には PDF ファイル
を収録した CD-ROM を進呈する。

*35 歳以下の優秀論文発表者（会員）は表彰選考の
対象となります（10 名以内）。

講演参加費（CD-ROM 付き）

- ・講演者が会員の場合：A 形式（1 頁）4,000 円，
B 形式（2 頁）7,000 円
- ・講演者が非会員の場合：A 形式（1 頁）5,000 円，
B 形式（2 頁）8,000 円

聴講のみの参加費 一般：3,000 円，学生：無料

講演申込み・論文投稿

連合大会 HP 上で申込登録及び PDF 形式の論文をアッ
プロードする。詳細は HP で確認すること。HP からの
投稿が不可能な場合は，事前に連絡のこと。

HP 上での申込登録・論文投稿締切

平成 24 年 8 月 10 日（金）17：00

問合先 TEL [011] 706-7396（西村），FAX [011] 706-7396
rengoutaikai@hokkaido.ieice.org
http://www.hokkaido.ieice.org/shibukai/

懇親会 日時：平成 24 年 10 月 20 日（土） 17：30～19：00
会場：北海道大学工学部食堂（札幌市北区北 13 条西 8）
会費：一般 3,000 円，学生 1,000 円

主 催 電子情報通信学会，電気学会，照明学会，電気設備学
会，映像情報メディア学会各北海道支部/IEEE 札幌支
部

日 時 平成 24 年 10 月 20 日（土） 9：00～17：00
会 場 島根大学（松江市西川津町 1060）
講演者 電気・情報関連学会会員に限ります。ただし，講演者以
外は非会員も連名は可能とします。同一人物が複数の講
演の講演者になることはできません。

講演内容 最近行った研究，計画及び工事報告，現地試験報告，
新製品紹介等

講演方法 質疑応答 3 分を含み 1 件 13 分（都合により変更する
ことがあります。）原則としてプロジェクトを使用。

【注意】①講演会場にはプロジェクト及び予備の PC を準備し
ます。原則として，持参のノート PC で発表して下
さい。また不具合等により会場の PC を使用する場
合のために，USB メモリ・CD-ROM 等により原稿
データを持参して下さい。

②備え付け PC の使用を希望される場合には，あらか
じめ実行委員会へ連絡して下さい。

③円滑な進行のため，セッション開始前までに各自持
参した PC で原稿データが正常に表示できることを
会場にて確認しておいて下さい。

講演申込 平成 24 年度（第 63 回）電気・情報関連学会中国支部
連合大会 HP <http://rentai.ecs.shimane-u.ac.jp> から
講演申込システムにアクセスしてお申し込み下さい。

講演原稿 原稿枚数は 1 件当り 2 枚までです（図面，表を含む）。
原稿の作成方法は，HP 上の「書き方の手引」を参照
して下さい。また，論文集にアブストラクトを掲載致
します。

【注意】①システムで登録可能なファイル形式は PDF または
Post Script です。講演申込とともにシステムから原
稿をアップロードして下さい。なお，ファイルの容
量は最大 2 MB までとします。

②著作権は連合大会委員会に帰属します。

③論文集やプログラムの発行日（公知日）は，10 月 3
日（水）にする予定です。それを踏まえ，必要に応
じ特許出願等の権利処理を済ませるようお願い致し
ます。

申込及び原稿提出の締切 8 月 17 日（金）で締め切ります。

申込料 原稿 1 枚の場合講演 1 件につき 3,000 円，2 枚の場合講
演 1 件につき 4,000 円です（CD-ROM 版論文集代含
む）。講演者には事前に CD-ROM 版論文集を送付し
ます。

払込先 郵便振替口座番号：01300-4-50180（ゆうちょ銀行 一
三九店（139）当座 0050180）
加入者名：電気・情報関連学会連合大会

【注意】①郵便振替払込用紙の「払込取扱票」の通信欄には必
ずシステムが発行した論文登録番号を記載して下
さい。複数の講演申込料をまとめて振り込む場合は，
論文登録番号及び著者名を必ず明記して下さい。

②HP から所定の様式を印刷の上，「郵便振替払込請求
書兼受領証」を貼り付け，下記番号に FAX して下
さい。

FAX [082] 232-6862

FAX に関してのお問合せ先：[082] 232-6628（産興

担当 衣松)

表彰 優秀論文に対する表彰制度があります。(各学会支部 HP 参照)

問合先 電気・情報関連学会中国支部連合大会実行委員会
〒690-8504 松江市西川津町 1060
島根大学大学院総合理工学研究科 担当 増田浩次
rentai@ecs.shimane-u.ac.jp
(お問合せはできるだけメールにてお願いします)

TEL [0852] 32-8907, FAX [0852] 32-8909
懇親会・会費 午後の一般講演終了後に懇親会を開催します。
(事前予約) 一般 3,000 円・学生 500 円
(当日受付) 一般 3,500 円・学生 1,000 円
お申込みは、HP <http://rentai.ecs.shimane-u.ac.jp> で受け付けております。

主催 電気・情報関連学会各中国支部(電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会・情報処理学会・電気設備学会)

共催 島根大学

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

—— 関西支部 ——

●電子情報通信学会関西支部 学生「見学会・講演会」

下記のとおり、学生見学会・講演会を開催しますので、多数御参加下さい。

日時 平成 24 年 9 月 6 日(木) 13:00~17:00 頃

対象 大学院、学部、高専の学生(学年不問)

※非会員学生も参加可能です

見学会テーマ:「どのようにして、電子・情報・通信の研究技術が生み出され社会に活かされているのか」

見学先 パナソニックセンター大阪(大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン 21)

行程 13:00 パナソニックセンター大阪見学

15:00 講演会

17:00 頃 現地で解散

講演会 「Panasonic のエナジーソリューションの取り組み」
水野治展(パナソニック)

集合場所 パナソニックセンター大阪(詳細は参加者に改めて御連絡致します) <http://panasonic.co.jp/center/osaka/>

集合時間 13 時(集合後移動しますので時間厳守、晴雨不問)

見学人数 定員 40 名(申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 無料

申込方法 電子メールにて、件名を「学生見学会講演会申込」とし、下記の必要事項を記載の上、お申し込み下さい。

平成 24 年 8 月 6 日(月) 締切

(a) 氏名, (b) 学校名, (c) 専攻または学科名, (d) 学年, (e) 電話番号

申込先 学生会幹事長 中条竜二(大阪電気通信大学大学院工学研究科) mfl1a010@oecu.jp

主催 電子情報通信学会関西支部学生会

●電気四学会関西支部専門講習会「電磁界に関する規制の動向」

経済産業省原子力安全・保安院は、平成 19 年 6 月から原子力安全・保安部会電力安全小委員会に電力設備電磁界対策ワーキングを設置して、一般環境における電力設備に係わる磁界規制のあり方について検討を行い、平成 20 年 6 月に報告書を取りまとめました。その後、経済産業省では本ワーキングの検討結果を踏まえ、50 Hz, 60 Hz の電磁界を規制するため、「電気設備に関する技術基準を定める省令」を改訂し、平成 23 年 4 月に公布、10 月に施行しました。また、国土交通省においても「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」の改訂を検討しています。本講習会では電磁界規制に至った背景や各業界における電磁界の測定、確認方法について、第一線で活躍されている研究者、技術者の方から御紹介頂き、電磁界規制への適切な対応の一助となればと考え、企画致しました。奮って御参加下さい。

日時 平成 24 年 9 月 24 日(月) 13:30~17:00

会場 中央電気倶楽部 513 号室(大阪市北区堂島浜 2-1-25, <http://www.chuodenki-club.or.jp/> を御覧下さい。堂島地下街南詰を右側に上がり、右へ約 50 m, 左側のレンガ造りの建物)

講演項目と講師

- (1) 開会の挨拶 電気学会関西支部支部長
- (2) 電磁界の人体影響とガイドラインの考え方 池畑政輝(鉄道総研)

- (3) 電力設備の電磁界に関する規制 小路泰弘(電気安全環境研)

- (4) 電力設備からの磁界の測定方法 水野幸男(名工大)

- (5) 鉄道用電気設備における電磁界規制の動向 奥井明伸(鉄道総研)

- (6) 閉会の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

聴講料 主催学会会員 8,000 円, 准員・学生員 無料

一般 10,000 円, 学生 2,000 円

定員 80 名(定員になり次第、締め切らせて頂きます。)

申込方法 電気学会関西支部 HP (<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>) からお申込み下さい。なお、講演会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先(会社あるいは学校名、所属、郵便番号、住所、電話番号)を御記入の上、E-mail、はがき等からもお申込み頂けます。下記の申込先まで御連絡下さい。後日、参加章と請求書をお送り致します。(お知らせ頂きました個人情報、行事の運営に必要な場合のみに使用します。)

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25

中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, 2530, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

—— 本 会 が 協 賛 等 の も の ——

(※は参加費割引あり)

科学セミナー「元素誕生と周期表—私たちを取り巻く原子核」

期 日 平成 24 年 8 月 9 日(木), 10 日(金)

会 場 東京大学本郷キャンパス小柴ホール(東京都文京区)

問合先 日本物理学会科学セミナー係

TEL [03] 3816-6201, FAX [03] 3816-6208

seminar@jps.or.jp

教育システム情報学会第37回全国大会

期 日 平成24年8月22日(水)～24日(金)
会 場 千葉工業大学(習志野市)
問合先 同大会実行委員会 仲林 清(千葉工業大学情報科学部
情報ネットワーク学科)
TEL [047] 478-0288, FAX [047] 478-0575
exec2012@jsise.net.it-chiba.ac.jp

平成24年度 KAST 教育講座「筆で塗れる電子回路—新しいナノインクが変える半導体デバイス技術—常温導電性金属微粒子とプリンタブルエレクトロニクスへの応用—

期 日 平成24年9月5日(水)
会 場 かながわサイエンスパーク(川崎市)
問合先 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ 石川
TEL [044] 819-2033, FAX [044] 819-2097

2012年度 マイクロメカトロニクス学術講演会

期 日 平成24年9月7日(金)
会 場 中央大学理工学部後楽園キャンパス(東京都文京区)
問合先 中央大学理工学部精密機械工学科 大隅 久
FAX [03] 3817-1820
osumi@mech.chuo-u.ac.jp <http://hij-n.com/>

平成24年電気学会 電力・エネルギー部門大会

期 日 平成24年9月12日(水)～14日(金)
会 場 北海道大学工学部(札幌市)
問合先 電気学会事業サービス課 奈良
TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704
nara@iee.or.jp <http://www.iee.or.jp/>

トライボロジー会議2012秋北海道室蘭(※)

期 日 平成24年9月16日(日)～18日(火)
会 場 室蘭工業大学(室蘭市)
問合先 日本トライボロジー学会事務局
TEL [03] 3434-1926, FAX [03] 3434-3556
<http://www.tribology.jp>

第55回「目黒会移動体通信研究会」

期 日 平成24年9月26日(水)
会 場 電気通信大学 B202 教室(調布市)
問合先 目黒会事務局
TEL [042] 482-3812, FAX [042] 482-3845
info@megrokai.or.jp <http://megurokai.jp/>

第29回センシングフォーラム計測部門大会——センシング技術の新たな展開と融合——(※)

期 日 平成24年9月27日(木), 28日(金)
会 場 茨城大学工学部日立キャンパス(日立市)
問合先 計測自動制御学会部門協議会担当
TEL [03] 3814-4121, FAX [03] 3814-4699
bumon@sice.or.jp

CEATEC JAPAN 2012

期 日 平成24年10月2日(火)～6日(土)
会 場 幕張メッセ(千葉市)
問合先 CEATEC JAPAN 運営事務局 担当 金子, 石崎
TEL [03] 6212-5231, FAX [03] 6212-5225
contact2012@ceatec.com

標準化と品質管理全国大会2012「日本再生と新たな価値の創造—グローバル競争を勝ち抜くために」(※)

期 日 平成24年10月15日(月), 16日(火)
会 場 都市センターホテル(東京都千代田区)
問合先 日本規格協会総務企画部企画調整課
同大会事務局 岩垂・天野
TEL [03] 3583-8086, FAX [03] 3586-2014
sqtaikai@jsa.or.jp

生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2012(LIFE 2012)

期 日 平成24年11月2日(金)～4日(日)
会 場 名古屋大学工学部(東山地区)(名古屋市)
問合先 LIFE 2012 大会事務局
LIFE2012@mech.nagoya-u.ac.jp

第55回自動制御連合講演会(※)

期 日 平成24年11月17日(土), 18日(日)
会 場 京都大学吉田キャンパス(京都市)
問合先 同講演会事務局(京都大学大学院情報研究科)
FAX [075] 753-5507
rengo2012@bode.amp.i.kyoto-u.ac.jp

第56回宇宙科学技術連合講演会(※)

期 日 平成24年11月20日(火)～22日(木)
会 場 別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)
(別府市)
問合先 日本航空宇宙学会事務局
TEL [03] 3501-0463, FAX [03] 3501-0464
<http://www.jsass.or.jp>

システム・情報部門学術講演会2012(SSi2012)(※)

期 日 平成24年11月21日(水)～23日(金)
会 場 ウィルあいち愛知県女性総合センター(名古屋市)
問合先 SSI2012 事務局(名古屋大学工学研究科)
SSI2012@sice.or.jp

第39回炭素材料学会年会(※)

期 日 平成24年11月28日(水)～30日(金)
会 場 長野市生涯学習センター TOiGO(長野市)
問合先 炭素材料学会ヘルプデスク(国際文献印刷社内)
FAX [03] 3368-2827 tanso-desk@bunken.co.jp

第50回光波センシング技術研究会講演会

期 日 平成24年12月4日(火), 5日(水)
会 場 東京理科大学神楽坂校舎森戸記念館(東京都新宿区)
問合先 応用物理学会 佐々木 豊(LST 事務局)
TEL & FAX [042] 381-0446 yssk@s.email.ne.jp
<http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第7回 Hot Wire CVD (Cat-CVD) 国際会議

期 日 2012年10月8日(月)~12日(金)
会 場 大阪産業創造館(大阪市)
問合先 HWCVD7事務局 福田常男(大阪市立大学大学院工学研究科)
TEL & FAX [06] 6605-2738
tfukuda@a-phys.eng.osaka-cu.ac.jp

第15回国際工作機械技術者会議(※)

期 日 2012年11月1日(木)~6日(火)
会 場 東京ビッグサイト(東京都江東区)
問合先 日本工作機械工業会技術部 同会議事務局
TEL [03] 3434-3961, FAX [03] 3434-3763
imec15@jmtba.or.jp http://www.jmtba.or.jp/

第19回 International Display Workshops/Asia Display (IDW/AD'12) Display Electronic Systems (DES) ワークショップ

期 日 2012年12月4日(火)~7日(金)
会 場 国立京都国際会館(京都市)
問合先 高村誠之 NTTサイバースペース研究所
TEL [046] 859-2371, FAX [046] 859-2829
takamura.seishi@lab.ntt.co.jp http://www.idw.ne.jp/

IDW/AD'12, VHF-WS (The 19th International Display Workshops/Asia Display 2012, Workshop on applied Vision and Human Factors)

期 日 2012年12月4日(火)~7日(金)
会 場 国立京都国際会館(京都市)
問合先 栗田泰市郎 情報通信研究機構
ユニバーサルコミュニケーション研究所
TEL [042] 327-7576, FAX [042] 327-6902
t-kurita@nict.go.jp http://www.nict.go.jp/

The 19th International Display Workshops in conjunction with Asia Display 2012 Flexible Display Workshop

期 日 2012年12月4日(火)~7日(金)
会 場 国立京都国際会館(京都市)
問合先 城 尚志 帝人 新事業開発推進グループ研究開発部門 融合技術研究所
TEL [042] 586-8140, FAX [042] 587-5510
t.shiro@teijin.co.jp http://www.idw.ne.jp/

第5回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用に関する国際シンポジウム (ISPlasma2013)

期 日 2013年1月28日(月)~2月1日(金)
会 場 名古屋大学(名古屋市)
問合先 科学技術交流財団東海広域知的クラスター創成事業本部 担当 直海
TEL [0561] 76-8327, FAX [0561] 76-8328
isplasma@astf.or.jp

2013年 光 MEMS・ナノフォトニクス国際会議

期 日 2013年8月18日(日)~22日(木)
会 場 金沢市文化ホール(金沢市)
問合先 同国際会議事務局
TEL [03] 3346-8007, FAX [03] 3346-8002

第18回複合情報技術の合成とシステム統合に関するワークショップ (SASIMI 2013)

期 日 2013年10月21日(月), 22日(火)
会 場 札幌ガーデンパレス(札幌市)
問合先 名城大学理工学部情報工学科 吉川雅弥
TEL [052] 838-2530, FAX [052] 832-1298
masay@meijo-u.ac.jp

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第28回電気通信普及財団賞論文募集——

応募要項 [一般向け]

[テレコム社会科学賞]

テーマ 電気通信についての社会科学的観点からの研究(電気通信と法律・経済・社会・文化等との関係について論じたもの)

応募対象論文 前記テーマについて、日本語で書かれた著書または論文(雑誌、学会誌等に掲載された論文または書き下ろしの未発表論文、1万字以上)。ただし、既発表のものについては、最近2年以内に発表されたものに限る。

[テレコムシステム技術賞]

テーマ 電気通信及びそれに関連する情報処理についての工学的、技術的観点からの研究及び標準化(情報通信の基礎理論の研究、情報通信システムの研究・開発、情報通信システムの応用、標準化等。ただし、材料・素子に関するものを除く)

応募対象論文 前記テーマについて書かれた論文・公開された資料(学会誌、国際会議〔標準化も含む〕、雑誌等に発表しない採録が決定したもの)または著書で、次に示す事項に該当するもの

- ・情報通信の基礎理念の研究:最近10年以内に発表されたもの
- ・情報通信システムの研究、開発、応用:最近2年以内に発表されたもの
- ・国際標準化活動にかかわるもの:最近10年以内に電気通信に関する国際標準として採用された、または標準化の方向付けに貢献したのもの

応募資格 論文/著書を執筆した個人またはグループ。自薦、他薦は問わない。

表彰 テレコム社会科学賞、テレコムシステム技術賞それぞれにつき入賞5論文以内を選定し、1論文につき賞金50万円を贈呈。なお、若干の奨励賞(賞金30万円)を選定することがある。

応募要項 [学生向け]

[テレコム社会科学学生賞]

テーマは上記〔テレコム社会科学賞〕と同じ

応募対象論文 前記テーマについて、学部及び修士課程において、本人が中心となって行った研究に関する論文。日本語に限る。文字数は資料含み2万字以内(図表、注釈は除く)。卒業・修士論文、書き下ろしの論文または雑誌掲載論文。

応募資格 学部もしくは修士課程に在学中の者、または、平成24年3月以降に卒業(修了)した者。

[テレコムシステム技術学生賞]

テーマは上記〔テレコムシステム技術賞〕と同じ

応募対象論文 前記テーマについて、学部及び修士課程において、本人が中心となって行った研究に関する論文(卒業・修士論文、学会論文誌、国際会議、研究会に発表しない採録が決定したもの、または書き下ろしの論文)

応募資格 学部もしくは修士課程に在学中の者、または平成23年3月以降に卒業(修了)した者。

表彰 テレコム社会科学学生賞、テレコムシステム技術学生賞それぞれにつき入賞10論文以内を選定し、1論文につき賞金20万円を贈呈。(特に優秀な論文には賞金50万円を贈呈)また、佳作5論文以内を選定し、1論文につき賞金10万円を贈呈。

応募締切 平成24年9月30日(日)

問合せ先 電気通信普及財団賞事務局 TEL〔03〕3663-8024
<http://www.taf.or.jp/award/>

——第59回(平成24年度)大河内賞——

受賞資格 最近において優れた業績をあげた個人または5名までのグループあるいは事業体。(受賞は原則として同一年度1社1業績)

賞の種類、対象となる業績

●個人または5名以内のグループを対象とする賞

大河内記念賞:生産工学上優れた独創的研究成果をあげ、公表された論文または学術上価値ある発表により、学術の進歩と産業の発展に多大の貢献をした業績。表彰:賞状、賞牌、賞金100万円/件

大河内記念技術賞:生産工学、生産技術の研究により得られた優れた発明または考案に基づく産業上の顕著な業績。表彰:賞状、賞牌、賞金30万円/件

●事業体を対象とする賞

大河内記念生産特賞:生産工学上の優れた独創的研究によりあげられた産業上の特に顕著な業績。表彰:賞状、大型賞牌。

大河内記念生産賞:生産工学、高度生産方式等の研究により得られた優れた発明または考案に基づく産業上の顕著な業績。表彰:賞状、大型賞牌。

推薦者 事業体、個人または自薦いずれでも可。

推薦締切日 平成24年8月24日(金)13時必着

問合せ先 大河内記念会

TEL〔03〕3501-2856, FAX〔03〕3501-2727

http://www.okochi.or.jp_kinenkai@okochi.or.jp

——平成24年度放送文化基金助成——

対象分野 放送文化にかかわりのある技術の研究・開発

- ・デジタル放送や将来の新しい放送システムに関する研究
- ・放送・通信融合時代における新しい放送サービスに関する技術研究
- ・放送番組の撮像・生成、記録、編集、保存等の制作技術に関する研究
- ・放送における送信、受信、伝送、再生または表示の技術に関する研究
- ・放送技術にかかわりのある基礎的研究及び人間の生理・心理等に関する研究

助成金額 総額5,500万円、1件当たり300万円

募集期間 平成24年9月3日(月)~28日(金)必着

問合せ先 放送文化基金 TEL〔03〕3464-3131,

FAX〔03〕3770-7239 <http://www.hbf.or.jp>

—2012 年度朝日賞—

人文や自然科学など、我が国の様々な分野において傑出した業績をあげ、文化・社会の発展・向上に多大な功績をされた個人または団体に贈ります。

募集締切日 平成 24 年 8 月 31 日（金）（所定の推薦票による）

問合せ先 朝日新聞社 CSR 推進部「朝日賞」事務局

TEL〔03〕5740-7453, FAX〔03〕3541-8999

—平成 25 年度全国発明表彰—

本発明表彰は、我が国における発明、考案または意匠の創作者並びに発明の実施及び奨励に関し、実績のあった方々を顕彰することにより、科学技術の向上及び産業の発展に寄与することを目的としています。

表彰(1) 第 1 表彰区分

- ・恩賜発明賞（賞状及びメダル）最も優秀と認められる発明等の完成者に恩賜発明賞を贈呈。
- ・畠山一清賞 恩賜発明賞の受賞者に対して畠山一清賞として賞状及び発明奨励金（200 万円）を贈呈。
- ・特別賞（賞状、メダル及び発明奨励金）内閣総理大臣発明賞（100 万円）、文部科学大臣発明賞、経済産業大臣発明賞、特許庁長官賞、発明協会会長賞以上各賞（50 万円）、日本経済団体連合会会長発明賞、日本商工会議所会頭発明賞、日本弁理士会会長賞、朝日新聞発明賞以上各賞（30 万円）

- ・発明賞（賞状及びメダル）

(2) 第 2 表彰区分

- ・21 世紀発明賞（賞状、メダル及び発明奨励金）著しく優秀と認められる発明の完成者に贈呈。（150 万円）
- ・21 世紀発明奨励賞（賞状、メダル及び発明奨励金）特に優秀と認められる発明の完成者に贈呈。（50 万円）

(3) 実施等に関する表彰

- ・発明実施功績賞（賞状及びメダル）第 1 表彰区分において、恩賜発明賞、特別賞を受賞する発明等が法人におけるものである場合に当該法人の代表者に贈呈。
- ・21 世紀発明貢献賞（賞状及びメダル）第 2 表彰区分において、21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を受賞する発明が法人におけるものである場合に当該法人の代表者に贈呈。
- ・発明実施功労賞（賞状及びメダル）第三者の発明、考案及び意匠を実施し、顕著な功績をあげている実施者を対象として贈呈。

(4) 発明奨励に関する表彰

- ・発明奨励功労賞（賞状及びメダル）発明、考案及び意匠創作の指導、育成、奨励について顕著な功績のある者を対象として贈呈。

応募方法 応募にあたっては、所定の「平成 25 年度全国発明表彰調査表」に記入の上、正 1 通、副 2 通（正の写し）の計 3 通を最寄りの発明協会各都道府県支部に提出して下さい。

応募締切日 平成 24 年 8 月 31 日（金）

問合せ先 発明協会 発明奨励グループ発明奨励チーム

TEL〔03〕3502-5431, FAX〔03〕3502-3485

shourei@jiii.or.jp <http://www.jiii.or.jp/>

受賞候補者募集等

—NEC C & C 財団助成—

●2012 年度後期国際会議論文発表者助成

趣 旨 海外で開催される国際会議において、「C & C 技術分野」の論文発表者を対象に、その会議に出席するための渡航費用を補助するもの。C & C 技術分野とは、情報処理技術、通信技術、電子デバイス技術及びこれらの技術の融合した技術分野をいう。

助成の概要 ① 助成の対象となる国際会議：

開催期日が 2012 年 11 月 1 日～2013 年 4 月 31 日で査読付きのもの

② 1 件当りの助成額：12～25 万円（開催地による）

助成の条件 ① 国際会議投稿時及び参加時に、日本の大学の博士前期並びに後期課程の在籍者（40 才以下）。

② 国際会議（査読付き）での論文採用が確定している方。論文採用未確定の場合は、論文採用確定を待って助成する。

③ 筆頭著者で、かつ発表者であること。

④ 応募件数は 1 名につき 1 件で、指導教官の推薦を必要とする。

⑤ 同一研究室から同一国際会議への応募は原則 1 名とする。複数名の応募の場合は、推薦者による優先順位を参考に審査する。

⑥ 経済的必要性が高いこと。

助成予定数 40 件程度

応募締切 平成 24 年 8 月 31 日（金）

問合せ先 NEC C & C 財団

TEL〔03〕3457-7711, FAX〔03〕3798-7818

kokuron@candc.or.jp <http://www.candc.or.jp/>

●「外国人研究員助成」2013 年度支給候補者

趣 旨 日本国内の大学において、「C & C 技術分野」の研究を行っている外国人研究員で経済的支援の必要な方を助成するもの。学位取得に集中できる環境を整えることを趣旨とするので、助成を受け取る期間において博士後期課程に属する方を優先する。

助成の概要 ① 助成受給者一人当たり月額 12 万 5 千円を 1 年間支給。

② 助成開始日は原則毎年 4 月 1 日。

③ 助成受給人数は毎年 3 名程度。

候補者資格 ① 国内の大学の大学院博士課程に在籍し、C & C 分野の研究に携わっている外国人研究員であって、指導教官の推薦を受けること。

② 研究内容が優れていること。

③ 経済的必要性が高いこと。

④ 応募時 40 歳以下の方。

応募締切 平成 24 年 9 月 30 日（日）

問合せ先 NEC C & C 財団

TEL〔03〕3457-7711, FAX〔03〕3798-7818

<http://www.candc.or.jp/>

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●慶應義塾大学

公募人員 理工学部電子工学科

- ①専任講師または助教（有期）1名
- ②専任講師または助教（有期）1名
- ③助教（有期）1名

専門分野 ①電子デバイス・電子材料分野, ②情報工学・通信工学分野, ③電気電子工学関連分野

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年8月17日（金）必着

問合先 理工学部電子工学科主任 岡田英史

詳細 <http://www.elec.keio.ac.jp/>

●早稲田大学

公募人員 理工学術院 電気・情報生命工学科及び電気・情報生命専攻 教授または准教授1名

専門分野 電子・電気材料, 電子・電気物性に関連する分野

担当講義 電磁気学及び専門に関する科目

応募資格 博士の学位を有すること。国籍は問わない

着任時期 平成25年4月以降できるだけ早い時期

応募締切 平成24年8月20日（月）必着

問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和

TEL [03] 5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp

詳細 http://www.eb.waseda.ac.jp/top/news/20120321_recruit.html

●青山学院大学

公募人員 情報テクノロジー学科 教授または准教授1名

専門分野 マルチメディア, ウェアラブルコンピュータ, ユビキタス, 音声処理, 及びこれらに関するデバイス開発

担当科目 マルチメディア工学, 計算機概論, メカトロニクス

応募資格 博士の学位を有し, 優れた業績と在外研究歴があり, 日本語と英語に堪能で, 英語で授業できること

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年8月31日（金）必着

問合先 理工学部情報テクノロジー学科主任 原田 実

TEL [042] 759-6321, harada@it.aoyama.ac.jp

●大阪産業大学

公募人員 工学部電子情報通信工学科 教授または准教授1名

専門分野 通信工学分野

応募締切 平成24年8月31日（金）必着

問合先 電子情報通信工学科主任 草場光博

kusaba@eic.osaka-sandai.ac.jp

詳細 <http://www.eic.osaka-sandai.ac.jp/>

●神奈川大学

公募人員 情報科学科 教授, 准教授, 助教のいずれか1名

担当科目 ソフトウェア設計関連, プログラミング関連科目など

応募資格 博士の学位を有し, 卒業研究・大学院も担当可能

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年8月31日（金）当日消印有効

提出先 〒259-1293 平塚市土屋 2946

神奈川大学理学部長 齊藤光實

照会先 情報科学科 後藤智範, gotout01@kanagawa-u.ac.jp

詳細 http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/h12_2.pdf

●神奈川大学

公募人員 教授または准教授2名及び特別助手2名

専門分野 情報学または数学基礎・応用数学

応募締切 教授または准教授：平成24年9月28日（金）必着

特別助手：平成24年10月31日（水）必着

問合先 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3丁目27番1号

神奈川大学工学部情報システム創成学科主任

森田 光, morita@kanagawa-u.ac.jp

詳細 <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

●九州工業大学

公募人員 大学院情報工学研究院知能情報工学研究系 教授または准教授1名

専門分野 メディア知能情報領域

担当科目 メディア知能情報領域の科目及び実験・演習

応募資格 採用時点で博士の学位を有し, 博士後期課程の学生の研究指導ができることが望ましい

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年8月31日（金）必着

問合先 瀬部 昇, sebe@ai.kyutech.ac.jp

詳細 <http://www.ai.kyutech.ac.jp/894.html>

●近畿大学

公募人員 理工学部情報学科 講師2名

専門分野 情報システム, 情報メディア

応募資格 博士（またはPh.D）の学位を有し, 心身が健康であり, 教育・研究及び大学の管理・運営に対して十分な能力と熱心な方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年8月31日（金）必着

問合先 情報学科長 井口信和

TEL [06] 6721-2332, iguchi@info.kindai.ac.jp

詳細 <http://www.kindai.ac.jp/about/saiyo/sci/>

●首都大学東京

募集人員 教授または准教授1名, 及び助教1名

所 属 学術情報基盤センター（南大沢キャンパス）

専門分野 コンピュータサイエンス領域

担当予定業務及び科目 ①学術研究用コンピュータシステム等の企画管理等, ②博士前期課程及び後期課程の研究指導

採用年月日 平成25年1月1日から同年4月1日までのいずれか

応募締切 平成24年8月31日（金）必着

その 他 募集の詳細は, 下記本学 Web ページを参照下さい

http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html

●千葉大学

公募人員 工学研究科電気電子系コース 助教1名(女性限定)
 専門分野 下記のいずれか。①機能性有機分子材料若しくはバイオナノプロセス、②窒化物半導体等の物性・デバイス、③システム・制御論に基づく新制御理論や産業応用
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着
 問合先 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学大学院工学研究科電気電子系コース長 石谷善博
 TEL [043] 290-3330, ishitani@faculty.chiba-u.jp
 詳細 http://www.te.chiba-u.jp/1_faculty_and_course/koubo.html

●東京農工大学

公募人員 大学院工学研究院先端情報科学部門 テニュアトラック准教授1名
 専門分野 情報科学・情報工学
 応募資格 博士の学位及び博士の学位取得後10年以内
 着任時期 平成24年12月1日、または平成24年度内のできるだけ早い時期
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着
 問合先 先端情報科学部門教授 藤田欣也
 TEL & FAX [042] 388-7142, kfujita@cc.tuat.ac.jp
 詳細 <http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html>

●日本大学

公募人員 工学部電気電子工学科 教授または准教授1名
 専門分野 デジタル信号処理・画像処理、通信ネットワーク
 担当科目 デジタル回路、電気電子数学、電子回路、通信工学、学生実験
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着
 問合先 電気電子工学科主任 柴田 宣
 TEL [024] 956-8788, shibata@ee.ce.nihon-u.ac.jp
 詳細 <http://www.ce.nihon-u.ac.jp/>

●広島工業大学

公募人員 電気システム工学科 教授、准教授または助教1名
 専門分野 エネルギー工学、電気機器及び数値解析に関する分野
 応募資格 ①本学の教育方針を理解し、教育及び研究に熱意のある方、②博士の学位を有する方、③専門分野における研究業績があり、学協会活動や社会的貢献をされている方、④大学院(博士前期課程)の授業及び研究指導を担当可能な方
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着厳守
 問合先 総務部 中畑佳二、TEL [082] 921-3123
 詳細 本学園 HP <http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/>

●広島工業大学

公募人員 電気システム工学科 教授、准教授または助教1名
 専門分野 通信工学に関する分野
 応募資格 ①本学の教育方針を理解し、教育及び研究に熱意のある方、②博士の学位を有する方、③専門分野における研究業績があり、学協会活動や社会的貢献をされている方、④大学院(博士前期課程)の授業及び研究指導を担当可能な方
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着厳守
 問合先 総務部 中畑佳二、TEL [082] 921-3123

詳細 本学園 HP <http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/>

●北海道大学

公募人員 教授1名
 専門分野 複雑系工学における自律システムに関する専門分野を対象とする。具体的には、創発性を伴う人工生命、学習・進化、エージェントシステム、複雑ネットワーク、最適化手法、集合知、及びこれらの応用領域
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着
 問合先 複合情報学専攻長 小野哲雄
 tono@complex.ist.hokudai.ac.jp
 詳細 Web ページ http://yggdrasil.eng.hokudai.ac.jp/download_file/files/qjin/24-7.pdf を御覧下さい

●明治大学

公募人員 理工学部情報科学科 専任教授1名
 専門分野 計算機ハードウェアの設計
 応募資格 博士の学位を有すること。顕著な研究業績があり、大学院博士後期課程の研究指導を担当できること。日本語・英語での講義及び研究指導ができること
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金)必着
 問合先 井口幸洋, iguchi@cs.meiji.ac.jp
 詳細 <http://www.meiji.ac.jp/koho/recruit/>

●明治大学

募集人員 電気電子生命学科 准教授または専任講師3名
 専門分野 (A)電力系統工学と電力変換に関する研究分野、(B)生体医工学のハードウェアに関連する分野、(C)電磁波工学及び通信理論を応用した通信伝送工学
 主要担当科目 (A)エネルギーネットワーク、(B)医用電子工学、(C)電気磁気学
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月1日(土)必着
 問合先 井家上哲史, ikegami@isc.meiji.ac.jp
 詳細 <http://www.isc.meiji.ac.jp/~eb/>

●明治大学

公募人員 理工学部情報科学科 専任教員3名
 職格(教授、准教授、講師)は分野(A, B, C)で異なる
 専門分野 (A)情報学基礎、知能情報学、情報ネットワークなど (B)情報学基礎、知覚情報処理など (C)メディア情報学・データベースなど
 応募資格 博士の学位を有し、教育に熱意がある方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月10日(月)必着
 問合先 学科長 石畑 清, ishihata@cs.meiji.ac.jp
 詳細 <http://www.meiji.ac.jp/koho/recruit/>

●立命館大学

公募人員 メディア情報学科 ①②教授または准教授各1名
 専門分野 ①バーチャルリアリティ分野 ②メディア情報技術分野
 応募資格 博士の学位を有し、研究・教育に熱意がある方
 その他の条件は下記ホームページ参照
 着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成 24 年 8 月 31 日 (金) 必着
 問 合 先 情報理工学部事務室 山田/古久保
 TEL (077) 561-5202, johokobo@st.ritsumei.ac.jp
 詳 細 http://www.ritsumei.jp/job/detail180_j.html

●立命館大学

公募人員 理工学部電気電子工学科 教授または准教授 1 名
 専門分野 無線通信分野 (無線通信工学, マイクロ波工学, アンテナ工学等においてハードウェアを主体とする領域)
 応募資格 着任までに博士の学位を有し, 上記の専門分野の優れた研究業績がある方
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 14 日 (金) 必着
 問 合 先 電気電子工学科長 服藤憲司
 TEL (077) 561-5853, harafuji@se.ritsumei.ac.jp
 詳 細 http://www.ritsumei.jp/job/index_j.html

●工学院大学

公募人員 情報通信工学科 下記①, ②の専門分野について, 教授または准教授各 1 名
 専門分野 ①コンピュータ応用工学
 ②画像情報メディア工学
 応募締切 平成 24 年 9 月 1 日 (土) 必着
 問 合 先 情報通信工学科主任教授 大塚裕幸
 otsuka@cc.kogakuin.ac.jp
 詳 細 ① <http://www.kogakuin.ac.jp/jinji/2012060105.pdf>
 ② <http://www.kogakuin.ac.jp/jinji/2012060106.pdf>

●大阪電気通信大学

募集人員 講師または准教授 1 名
 専門分野 計測制御分野・電力制御分野
 応募資格 計測・制御関係, 電気・電子回路等を担当できる方
 教育・学生指導に積極的に取り組める方
 着任時に博士の学位を有する方
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 18 日 (火) 当日消印有効
 問 合 先 工学部電気電子工学科主任教授 伊与田 功
 TEL (072) 820-9011, iyoda@isc.osakac.ac.jp
 詳 細 http://oweb11.osakac.ac.jp/news_employment/article/751

●東邦大学

公募人員 准教授または専任講師 2 名
 所 属 理学部情報科学科
 専門分野 知能・情報処理分野
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院の教育・研究担当可能な方
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 21 日 (金) 必着
 問 合 先 〒274-8510 船橋市三山 2-2-1
 東邦大学理学部情報科学科主任 新谷幹夫
 TEL (047) 472-1277, shinya@is.sci.toho-u.ac.jp
 詳 細 <http://www.is.sci.toho-u.ac.jp>

●富山大学

公募人員 大学院理工学研究部環境・エネルギー学域エネルギー学系 (電気電子システム工学科担当) 教授 1 名
 研究分野・専門分野 電力工学 (高電圧, 電力系統, プラズマ,

スマートグリッドなどに関連した技術分野)
 採用予定日 平成 25 年 1 月 1 日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成 24 年 9 月 21 日 (金) 必着
 問 合 先 大学院理工学研究部教授 中島一樹
 (工学部電気電子システム工学科長)
 TEL (076) 445-6720, kazukin@eng.u-toyama.ac.jp
 詳細情報 <http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.html>

●明石工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 准教授または講師 1 名
 専門分野 電気電子系
 応募資格 博士の学位または技術士の資格を有し (取得見込みを含む), 教育, 学生指導, 研究に熱意のある方
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着
 問 合 先 電気情報工学科長 中井優一
 TEL (078) 946-6135, ynakai@akashi.ac.jp
 詳 細 <http://www.akashi.ac.jp/contents/Shomu/Jinji/>

●岡山大学

公募人員 教授 2 名
 所 属 自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座
 専門分野 知能設計工学等の情報工学分野の教授 1 名, 及び, 知能ソフトウェア基礎学等の情報工学分野の教授 1 名
 応募資格 ①博士の学位, ②優れた研究業績, ③講座運営の熱意
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着
 問 合 先 計算機科学講座主任 阿部匡伸
 TEL (086) 251-8175, abe@cs.okayama-u.ac.jp
 詳 細 <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/bosyu/kyoiku/kyoiku.html>

●久留米工業高等専門学校

公募人員 准教授または助教 1 名
 専門分野 電子工学 (半導体, 集積回路工学, デバイス設計)
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着
 問 合 先 電気電子工学科長 池田 隆
 TEL (0942) 35-9385, FAX (0942) 35-9307
 ikeda@kurume-nct.ac.jp
 公募詳細 <http://www.kurume-nct.ac.jp> 「教職員公募」を参照

●東京理科大学

公募人員 基礎工学部電子応用工学科 准教授または講師 1 名
 専門分野 情報処理 (情報ネットワーク工学, 計算機工学 (ハードウェア), 通信ハードウェア, 集積回路工学等)
 応募資格 博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できること
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着
 問 合 先 電子応用工学科主任 藤代博記
 TEL (04) 7122-9661, fujisiro@te.noda.tus.ac.jp
 詳 細 <http://www.tus.ac.jp/boshuu/kyoin/>

●東北工業大学

公募人員 知能エレクトロニクス学科 教授または准教授 1 名
 専門分野 知能システム分野 (ロボティクス, システム制御, マ

イクロコンピュータシステムなど)

応募資格 博士号取得者または取得見込みの方で、組込みシステムの教育ができる方
 着任時期 原則として、平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月28日(金)必着
 問合先 工学部知能エレクトロニクス学科長 本多直樹
 TEL [022] 305-3220, n_honda@tohtech.ac.jp
 詳細 http://www.tohtech.ac.jp/

●長岡工業高等専門学校

公募人員 電子制御工学科 助教または講師1名
 専門分野 情報系分野(ネットワーク技術, プログラミング)
 応募資格 博士の学位を有する方, または着任後1年以内に取得見込みの方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月28日(金)必着
 問合先 電子制御工学科長 梅田幹雄
 TEL [0258] 34-9217, umeda@nagaoka-ct.ac.jp
 詳細 http://www.nagaoka-ct.ac.jp/info/

●名古屋大学

募集人員 教授または准教授1名
 所 属 大学院情報科学研究科情報システム学専攻
 専門分野 新世代情報システムに対応するソフトウェアの理論または開発方法論
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募期限 平成24年9月28日(金)必着
 問合先 情報システム学専攻長 結縁祥治
 yuen@is.nagoya-u.ac.jp
 詳細 http://www.is.nagoya-u.ac.jp/を御覧下さい

●筑波大学

公募人員 図書館情報メディア系 助教1名(任期5年)
 専門分野 音声・音響メディア処理(音声・音響信号処理, 音声認識, 音声合成, 音声検索)
 応募資格 博士の学位を有し, 音声・音響メディア処理に関する世界レベルの研究・教育ができる方. 学群講義と実験, 大学院講義(英語での講義を含む)を担当できること
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月30日(日)必着
 問合先 川原崎雅敏, mkawa@slis.tsukuba.ac.jp
 詳細 http://www.tsukuba.ac.jp/update/jobs/pdf/h24boshu_slis.pdf

●徳島大学

公募人員 工学部電気電子工学科 助教1名(任期あり)
 専門分野 通信システム(伝送システム, ネットワークなど), 及び通信における信号処理(光信号処理を含む)を専門とする方
 応募資格 博士の学位を有するか, 取得見込みの方
 着任時期 平成25年4月1日, または決定後なるべく早い時期
 応募締切 平成24年10月1日(月)必着
 問合先 電気電子工学科長 島本 隆
 TEL[088]656-7483, simamoto@ee.tokushima-u.ac.jp
 詳細 http://www.tokushima-u.ac.jp/about/adoption/

●福岡工業大学

公募人員 准教授または助教1名
 専門分野 電子工学関連分野
 主な担当科目 回路系, 制御系, 組込み系, 学生実験等の科目
 任 期 なし
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年10月1日(月)必着
 問合先 田中秀司, s-tanaka@fit.ac.jp
 詳細 募集資格と応募方法等は教員公募ページを参照下さい
 http://www.fit.ac.jp/elec/
 備 考 本学では, 助教も研究室を持ち研究費も配分されます

●北見工業大学

公募人員 工学部電気電子工学科 助教1名
 専門分野 光・電磁波工学
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年10月5日(金)当日消印有効
 問合先 〒090-8507 北見市公園町165番地
 北見工業大学電気電子工学科長 谷本 洋
 TEL [0157] 26-9278(直通)
 htanimot@mail.kitami-it.ac.jp
 詳細 http://www.kitami-it.ac.jp/の教員公募に掲載

●京都大学

公募人員 工学研究科電子工学専攻 教授1~2名
 専門分野 量子, 光, 分子, スピン, プラズマエレクトロニクス, イオン工学, 先進プロセス, ナノテクノロジー等の先端分野
 着任時期 平成25年4月以降できるだけ早い時期
 提出書類 http://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/教員公募情報参照
 応募締切 平成24年10月15日(月)当日消印有効
 問合先 工学研究科電子工学専攻長 木本恒暢
 chair-denshi@kuee.kyoto-u.ac.jp

 ◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html

◎次回締切 10月号掲載分 平成24年8月24日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので, 併せて御覧下さい。

URL : http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html

——銀行・郵便局口座自動引落しの
割引特典のお知らせ——

銀行／郵便局の口座からの会費の自動引落しを選ばれますと、
次年度基本会費から、5%割引になる特典がございます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

—<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う
方は 10 月 1 日までに依頼書を事務局宛てに御送付下さい。

——御登録情報の変更・確認はマイページを
御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい。
なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメー
ルアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認／変更について一送付先住所、会費支払方
法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、
学生会員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、
満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
 - (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事
故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウン
ロードの上、FAX／郵送して頂く形式をとっております。

——平成 24 年 8 月号及び 9 月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

8 月号 [英文] Image Media Quality

9 月号 [英文] Software Reliability Engineering

(通信ソサイエティ)

8 月号 [英文] Networking Technologies for Cloud Services

9 月号 [和文] 無線システムの進展の基盤となるアンテナ・伝搬
技術

9 月号 [英文] Emerging Technologies and Applications for Ad
Hoc and Wireless Mesh Networks

(エレクトロニクスソサイエティ)

8 月号 [和文] LSI と高密度実装から見た異種機能集積技術への
期待と課題 招待論文特集

8 月号 [英文] Heterostructure Microelectronics with TWHM
2011

9 月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical Devi-
ces (Selected Papers from IS-EMD2011)

(情報・システムソサイエティ)

8 月号 [和文] 画像の認識・理解

9 月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理レター

9 月号 [英文] Software Reliability Engineering

Special Section on Nonlinear Vibration
in Mechanical Systems and Its Control

——from Nano to Macro——

We are pleased to announce a Special Section (SS) of the
IEICE's new journal, "Nonlinear Theory and Its Applications,
IEICE," to be published in July, 2013. The major part of this SS
will focus on recent progress on the research related to nonlinear
vibrations in mechanical systems and its control. The topics of
interest within the scope of this SS include, but are not limited to,
the following areas:

- Analysis of nonlinear vibration in nano- and micro-mechan-
ical systems
- Applications of nonlinear vibration and control of mechan-
ical systems
- Energy scavenging or harvesting by nonlinear oscillators
in mechanical systems
- Nonlinear dynamics of composite mechanical systems

Papers submitted to this SS will be peer-reviewed under the
handling of the editorial committee of the SS. The deadline of
paper submission is October 10, 2012. Prospective authors are
requested to carefully follow the submission process described
below:

1. Submit a paper using the IEICE Web site ([https://review.
ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA](https://review.ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA)). Au-
thors should choose "[Special-EN] Nonlinear Vibration in
Mechanical Systems and Its Control" as a "Type of Issue
(Section)/Transactions" on the line screen. Please do not
choose "[Regular-EN]".
2. Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement"
and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by
E-mail, FAX or postal mail to the following address:
Kohei Yamasue
Dielectric nano-devices, Research Institute of Electrical
Communication, Tohoku University
2-1-1 Katahira, Aoba, Sendai 980-8577, Japan
E-mail: yamasue@riec.tohoku.ac.jp
Fax: +81-22-217-5526 (please attach a cover sheet
indicating the sender's name)

The article charges until 30 pages:

One of the authors is a member of IEICE 60,000 JPY

Otherwise 65,000 JPY

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article
Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript
Registration" by October 10, 2012. We cannot start the review
process without them, even if we receive their manuscripts. For
additional guidelines on manuscript preparation, please visit the
following site:

<http://www.nolta.ieice.org/authors.html>

Please note that if accepted, authors are requested to pay for the
article charges covering partial costs of publications, page charge
cannot normally be waived.

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership:

<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

Guest Editor

Oded Gottlieb Israel Institute of Technology

Takashi Hikihara Kyoto University

Guest Associate Editors

Ho Bun Chan The Hong Kong University of Science and Technology

Bala Balachandran University of Maryland

Stefano Lenci Universita' Politecnica delle Marche

Toshiyuki Tsuchiya Kyoto University

Hiroshi Yabuno Keio University

Hirofumi Yamada Kyoto University

Marian Wiercegroch University of Aberdeen

Secretary

Kohei Yamasue Tohoku University

——電子情報通信分野における萌芽的研究

小特集号 (和文論文誌 A) 論文募集——

電子情報通信分野における萌芽的研究

小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集号 (平成 25 年 8 月号) として、「電子情報通信分野における萌芽的研究小特集号」を企画しました。

基礎・境界ソサイエティは、様々な研究分野を含む、分野横断型のソサイエティです。その特色を生かし萌芽的な研究に注目した小特集を過去 2 回 (平成 23 年 2 月号) (平成 24 年 7 月号) に引き続き企画致しました。基礎・境界ソサイエティには、サブソサイエティや研究専門委員会に代表される幾つかの分野の研究者・技術者が集まったコミュニティが存在します。自身の専門分野の研究を深化させたものに限らず、他のコミュニティとの関わり合いを通じて、基礎・境界ソサイエティがカバーする分野を融合・発展させた電子情報通信に関する論文を募集します。

本小特集は、主として大学院学生や企業・研究機関の若手研究者・技術者からの投稿を期待しており、実際の過去の投稿も期待に沿った形となっています。しかしながら、投稿者に年齢制限はなく、「萌芽的研究」の内容も幅広く考えます。

また、萌芽的研究の成果をより効果的に提示できるよう、画像・映像・音声・プログラムなどのデジタルデータを論文の付録とすることも可能です。採録論文付録のデジタルデータは本会の Transactions Online において、論文本体とともに掲載する予定です。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

基礎・境界ソサイエティ和文論文誌がカバーする分野全て。

電気音響、音響一般、騒音、振動、音声、聴覚、超音波、デジタル信号処理、アナログ信号処理、システムと制御、非線形問題、回路理論、回路解析、VLSI 設計技術と CAD、組込みシステム、数値計算、数理計画法、アルゴリズムとデータ構造・計算複雑度、グラフとネットワーク、信頼性、保全性、安全性、情報セキュリティ基礎、情報理論、符号理論、通信理論、信号理論基

礎、スペクトル拡散技術、移動情報通信・パーソナル通信、高度交通システム (ITS)、画像、視覚、コンピュータグラフィックス (CG) 基礎、人工知能、ヒューマンコミュニケーション、ニューラルネットワーク及び生物工学、マルチメディア環境技術、情報倫理・情報通信倫理、コンカレント工学、測定・計測、基礎理論

2. 編集方針

萌芽的研究、特に若手研究者・技術者が行う研究は発展途上であり、その価値は社会が将来評価する要素が強いことを考慮し、研究の新規性並びに成果の信頼性に比べて、研究の有用性についての一般性や十分性を厳しく求めないものとします。

3. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理できないので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. デジタルデータについて

デジタルデータを論文の付録としたい場合は、下記を御参照下さい。

- (1) 論文本体で首尾一貫した内容とし、デジタルデータは付録 (参考情報) として取り扱います。
- (2) デジタルデータの著作権は著者に残し、学会には Web 上での公開や、DVD 等への収録等の利用に関する許諾を取得させていただきます。(コンテンツ・デジタルデータに Copyright を記載させていただきます。)
- (3) デジタルデータの容量上限については以下のようさせていただきます。
 - (a) 1 ファイル当りの上限は 50 MByte とします。
 - (b) 1 論文当りの上限 (容量, ファイル数) はありません。
 - (c) 特集号全体の上限 (容量) はありません。
- (4) デジタルデータの掲載・編集作業等の費用については、「付録」として扱う (論文本体に埋め込まない) ことから、今回の小特集号に限り無料と致します。
- (5) デジタルデータの提出は、デジタルデータを収録した CD または DVD を必要枚数作成し、事務局まで投稿締切日までに送付して下さい。(必要枚数: 論文 4 枚, レター 3 枚)
- (6) デジタルデータのメディアへの収録方法、論文本文からの引用方法については「デジタルエンターテイメントにおける数理・技術とコンテンツ小特集」と同一と致します。詳細は当該小特集募集にある『「デジタルエンターテイメントにおける数理・技術とコンテンツ小特集号」の論文原稿及び採録論文付録のコンテンツ・デジタルデータの作成方法について」(http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/online_kit.lzh) を御覧下さい。

5. 論文投稿締切日 平成 24 年 10 月 31 日 (水) 厳守

6. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

送付先:

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-a@ieice.org
※郵送の場合は、封筒に特集号名を朱記して下さい。

7. 問合せ先

岡 育生 大阪市立大学大学院工学研究科電子情報系専攻
E-mail: oka@info.eng.osaka-cu.ac.jp

8. 小特集編集委員会

委員長 岡 育生
編集幹事 栗原正純
編集委員 平成24年度和文論文誌A編集委員

9. 付記

- * 本小特集号を含む本会論文誌に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも1名は電子情報通信学会の会員である必要があります。
- * 採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——持続的な発展を可能とするインターネットアーキテクチャ、プロトコル、管理手法

小特集号(英文論文誌B)論文募集——

持続的な発展を可能とするインターネットアーキテクチャ、プロトコル、管理手法小特集号編集委員会

インターネットは今や必要不可欠な通信基盤となりましたが、IPv4アドレスの在庫の枯渇によりIPv6への移行が急務となっています。しかし、IPv4からIPv6に移行しただけでは現在のインターネットが抱える問題点の解決や今後現れるであろう新しい要求への対応は十分とはいええず、新しい概念や技術によりインターネットを持続的に発展させていかなければなりません。研究の動向を見ると、新しい概念によりインターネットを再構築しようという clean slate と呼ばれる考え方が2006年頃から盛んになり、information centric networking や software-defined networking などの新しい考え方が出てきました。多数のセンサノードなどの接続によりインターネットは更に大規模かつ複雑になり、新しいルーティング技術やトラフィック制御技術が必要となります。クラウドコンピューティングやグリッドコンピューティングが普及し、そのための新しいセキュリティ技術も必要となります。更にこのような大規模で複雑なネットワークを管理するための新しい管理手法も必要となります。そこで、インターネットの持続的な発展を可能にするアーキテクチャ、プロトコル、管理手法に関する本小特集号(2013年7月号掲載)を企画致します。

1. 対象分野

新世代インターネットのためのアーキテクチャ及びプロトコル

- ・ 新世代インターネットのための新しいパラダイム
例) information centric network, delay tolerant networking, software-defined networking
- ・ 超大規模で複雑なネットワークのためのルーティング及びトラフィック制御技術
例) P2P networks and Internet-of-Things
- ・ マルチドメイン環境におけるセキュリティ技術
例) authentication, authorization and accounting mechanisms for cloud/grid computing, intrusion detection, and prevention against DDOS

新世代インターネットのためのネットワーク管理手法と運用事例

- ・ 新しいスキームに基づくネットワーク管理手法
例) ontology and cross-layer collaboration
- ・ 信頼性、品質評価手法、サービスに関するガイドライン
新世代インターネットのためのその他の技術
- ・ 移動体サポート機構、スケーラブルなQoSサポート機構、ほか

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は原則として刷り上がり8ページを標準とします。また、レターは受け付けません。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初回投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Section (Issue)/Transactions”で[Special-EB] Internet Architectures, Protocols, and Management Methods that Enable Sustainable Development を選択して下さい。[Regular-EB]を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 2012年11月7日(水)必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

京都産業大学コンピュータ理工学部 秋山豊和
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL [075] 705-1531, FAX [075] 705-1531
E-mail: ia-eb-1307-submit@inl.ics.keio.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 寺岡文男(慶大)
幹事 島 慶一(IIJイノベーションインスティテュート), 秋山豊和(京都産大)
委員 明石 修(NTT未来ねっと研), 飯田勝吉(東工大), 一井信吾(東大), 衛藤将史(NICT), 金子晋丈(慶大), 近堂 徹(広島大), 鶴 正人(九工大), 長谷川輝之(KDDI研), 藤川和利(奈良先端大), 南政樹(駒澤大)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——ワイヤレスシステムを支える技術を融合する アンテナ・伝搬技術論文特集号

(和文論文誌 B) 論文募集——

ワイヤレスシステムを支える技術を融合する アンテナ・伝搬技術論文特集編集委員会

近年、スマートフォンや無線 LAN などの普及により高速なワイヤレスシステムが身近なものとなってきています。また、アンテナ・伝搬及び解析技術を利用した電力伝送や RFID などの新たな分野も注目されています。更に、コグニティブ無線やヘテロジニアスネットワークといった、複数のワイヤレスシステムを共存させるための研究開発が進められています。これまでは、個別のシステムごとに様々な技術の研究・開発が行われてきました。複数のワイヤレスシステムやこれまでの形態とは異なるシステムを効率的に運用するためには、これまでの技術を発展させた新しい技術の研究・開発だけでなく、既存及び新規技術の融合が重要となってきます。そこで本特集号(平成 25 年 9 月号)では、ワイヤレスシステムを支えるこれまでの既存技術と新規技術の融合を実現するアンテナ・伝搬関連分野における最新の研究成果に関して、幅広い分野で論文を募集することとしました。多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしています。

1. 対象分野

アンテナ設計・解析・測定技術、広帯域アンテナ等各種

アンテナシステム、電磁界解析技術、伝搬チャネルの理論解析・モデル化・実験、アダプティブアレー・MIMO などアンテナ・伝搬を活用した通信システム技術、電力伝送用アンテナ・伝搬技術、アンテナ・伝搬シミュレーション技術、その他、これらの融合技術を含むアンテナ・伝搬の関連分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。

査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：平成 25 年 1 月 7 日(月) 厳守

最終判定予定：平成 25 年 5 月中旬

発行月：平成 25 年 9 月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

【送付先】

電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

郵送時、封筒に「アンテナ・伝搬技術特集」と朱記して下さい。

E-mail: wabun-b@ieice.org FAX [03] 3433-6616

5. 特集編集委員会

委員長 岩井誠人(同志社大)

編集幹事 西森健太郎(新潟大)、笹森崇行(秋田県立大)

編集委員 有馬卓司(農工大)、岩井 浩(パナソニック)、北尾光司郎(NTT ドコモ)、庄木裕樹(東芝)、高橋徹(三菱電機)、中野雅之(KDDI 研)、野口啓介(金沢工大)、藤元美俊(福井大)、道下尚文(防衛大)

6. 問合せ先

笹森崇行 秋田県立大学システム科学技術学部

〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4

TEL [0184] 27-2103, FAX [0184] 27-2212

E-mail: sasa@akita-pu.ac.jp

会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」好評発売中 ——創刊号から平成 19 年 12 月号までの記事を集約——

平成 17 年 2 月に販売した会誌 DVD に引き続き、現在会誌 DVD 第 2 版を好評発売中です。

今回の DVD は、前回のものから平成 17 年 1 月号以降の 3 年間分を追加した「創刊号から平成 19 年 12 月号までの会誌記事」と本会の「50 年史」、「75 年史」を DVD 2 枚組みにして収録し、1976 年以降のものは全文検索ができます。

期間限定の割引価格にて販売しておりますので、この機会にぜひお申し込み頂きたく御案内申し上げます。
なお、前回の DVD を御購入頂いている会員の方には、特別価格で販売しておりますのでお申し出下さい。

◎ 期間限定割引価格

個人会員	10,000 円 (定価 12,000 円)
個人非会員	30,000 円 (定価 50,000 円)
企業・図書館等	50,000 円 (定価 80,000 円)

下記の申込書をコピーの上、郵送またはファクシミリにて本会宛お送り下さい。



..... キ リ ト リ

会誌 DVD 第 2 版購入申込書 (この用紙をコピーの上、郵送または FAX して下さい。)

※ FAX の誤送信に御注意下さい。

- (1) 会誌 DVD 第 2 版 (DVD 2 枚組み) _____ 組を申し込みます。
- (2) 必要書類 ・ 本会書式の請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通が必要
(書類は現品に同封してお送り致します)
・ 請求関係書類の記載名義 _____
- (3) 該当箇所の にチェックして下さい。
 個人会員 (会員番号 _____) 個人非会員 企業・図書館等
- (4) 送付先 ・ 住 所 _____

 * 部課名, 研究室名, アパート名等まで御記入願います。
 ・ 氏 名 _____
- (5) 連絡先 TEL : _____ E-mail : _____

申込み先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
 一般社団法人電子情報通信学会会員サービス部会員課
 FAX [03] 3433-6659 TEL [03] 3433-6691 E-mail : kaiin@ieice.org